

資料 4－2

別 紙

## 地域間幹線系統に係る 地域公共交通確保維持事業の詳細

令和 7 年（2025 年）6 月

熊本県地域公共交通協議会

## 地域間幹線系統に係る地域公共交通確保維持事業の詳細 記載事項

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性	P1
2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果及びその評価手法・測定方法	P3
3. (表1) 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者	P5
4. (表2) 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額	P7
5. (表3) 別表1の補助事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧	P21
6. (表4) 同一の補助対象系統として取り扱うことを協議会が特に認めた運行系統の範囲について	P22
7. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項	P23
8. 外客来訪促進計画との整合性	P27
9. 車両の取得に係る目的・必要性	P29
10. 車両の取得に係る定量的な目標・効果	P30
11. (表5) 車両の取得計画の概要	P31
12. (表6) 車両の取得を行う事業者、要する費用の総額、負担者及びその負担額	P32
13. 協議会の開催状況と主な議論	P35
14. 協議会メンバーの構成(熊本県地域公共交通協議会)	P36
(添付資料)	
・運行予定系統を示した地図	

## 1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

熊本県内の地域公共交通は、人口減少等の影響により、利用者数の減少や、それに伴う交通事業者の収支悪化・自治体負担の増加に歯止めがかからない状況が長く続いてきたほか、近年では、運転手不足をはじめとする供給面の課題も顕在化している。

このような状況を受け、熊本県地域公共交通計画では、「持続可能な幹線公共交通ネットワークの構築」を目標の一つとして定め、各地域拠点を複数連絡する路線バスのうち一定の輸送量を有する路線バスについては、国、県による支援を中心に維持・確保を図ることとしている。

今回、認定申請する幹線系統については、地域公共交通確保維持事業を活用し赤字額を補填することで、系統の維持を図り、地域住民の通勤、通学、通院及び買物等に必要な生活交通手段を確保するものである。

系統ごとの目的及び必要性については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	現状の利用目的	路線維持の必要性
1	1 熊本バス(株)	直行線	山都町方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	熊本市・嘉島町・御船町から矢部高校への通学、御船町・山都町から御船高校・熊本市内の高校への通学、御船町内から御船中学校への通学、熊本市内や御船町の病院への通院、市内への買物、通勤等の手段として必要である。
2	2 熊本バス(株)	砥用線	美里町・砥用方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	美里町・甲佐町から甲佐高校までの通学、美里町・甲佐町・御船町・嘉島町住民の熊本市内の病院への通院、買物、通勤、通学等の手段として必要である。
3	3 熊本バス(株)	辺場・甲佐線	甲佐方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	甲佐町・御船町・嘉島町から熊本市内への通勤、通学、買物、通院の手段として必要である。
4	4 熊本バス(株)	御船・甲佐線	甲佐方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	御船高校・甲佐高校や熊本市内の高校までの通学、甲佐町・御船町・嘉島町の住民等の熊本市内等への通院、通勤、買物の手段として必要である。
5	5 熊本バス(株)	健軍・砥用線	美里町・砥用方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	美里町・甲佐町・御船町・嘉島町の住民の熊本市内の高校等への通学および通勤、通院、買物などの手段として必要である。
6	6 熊本バス(株)	健軍線	甲佐方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	熊本市・嘉島町・御船町の住民の御船高校・甲佐高校までの通学、甲佐町・御船町・嘉島町から熊本市内の高校への通学および通勤、通院、買物の手段として必要である。
7	7 熊本バス(株)	健軍・イオン線	熊本市街地から東区役所への利用	沿線住民の買物、通勤、通学の足としてだけでなく、乗継拠点である健軍電停・イオンモール熊本を結ぶ交通手段として必要である。
8	8 熊本バス(株)	宇土線	熊本市街地および城南地区から宇土市への通学利用	熊本市内への通勤・通学のための路線として、また、ＪＲ宇土駅での乗継利用とともに、城南地区の生活路線として、買物のための交通手段としても必要である。
9	9 熊本バス(株)	松橋線	熊本市街地および城南地区から松橋地区への通勤・通学利用	熊本市内への通勤・通学のための路線であり、主に支援学校、松橋高校生の通学として使用されている。また、ＪＲ松橋駅での乗継利用とともに、城南地区の生活路線として、買物のための交通手段としても必要である。
10	10 熊本バス(株)	画図線	城南地区から熊本市街地の学校への通学利用および通勤・通院・買物等の利用	城南町・嘉島町から熊本市内の高校（九州学院等）までの通学、また住民の県庁、市役所までの通勤・通院および買物のための交通手段として必要である。
11	11 熊本バス(株)	乙女線	甲佐方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	熊本市・嘉島町住民のくまもと南部広域病院までの通院・通勤、甲佐町住民の熊本市内への通院、通勤、買物、甲佐町学童の乙女小学校までの通学、火の君文化センターの利用者の交通の手段として必要である。
12	12 熊本バス(株)	中病・イオン線	熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	沿線住民の熊本市街地への通勤、通学、通院、買物等への交通手段として、また、イオンモール熊本を乗継拠点として、沿線に所在する学校や病院、商業施設への足として必要である。
13	13 熊本バス(株)	江津・イオン線	江津住宅地から熊本市街地間の通勤・通学・買物等の利用	熊本市・江津住宅地からの住民の通勤、通学、買物の手段だけでなく、乗継拠点であるイオンモール熊本への交通手段として必要である。
14	14 熊本バス(株)	セイラ・イオン線	セイラ住宅地から熊本市街地間の通勤・通学・買物等の利用	熊本市・セイラ住宅地からの住民の通勤、通学、買物の手段だけでなく、乗継拠点であるイオンモール熊本への交通手段として必要である。
15	15 熊本バス(株)	城南・志導寺線	城南地区から熊本市街地への通勤・通学・買物等の利用	城南地区から熊本市中心部への通勤・通学・通院・買物等の生活路線として維持していく必要がある。
16	16 熊本バス(株)	健軍電停・イオン線	嘉島方面から熊本市街地への乗継拠点（健軍電停）への通勤・通学・買物等の利用	嘉島方面から熊本市街地へ通勤・通学・買物等の利用のため、交通結節点である健軍電停への交通手段として必要である。

番号	事業者名	系統名	現状の利用目的	路線維持の必要性
17	1	産交バス(株)	健軍・東無田經由 熊本・御船線	御船方面から熊本市街地への通勤・通学・通院・買物に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
18	2	産交バス(株)	河内經由 熊本・小天線	河内方面から熊本市街地への通院・通学に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
19	3	産交バス(株)	植木・大倉經由 熊本・玉名線	相互間においての通院・通学・買物に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
20	4	産交バス(株)	菊池經由 山鹿・大津線	相互間において、通院・通学・買物などに利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
21	5	産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港經由 本渡・富岡線	富岡方面から天草市街地への通学・通院・買物などに利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
22	6	産交バス(株)	一町田中央・久玉經由 本渡・牛深線	計画輸送量が15人未満であるが、相互間において、通院・通学・買物などの利用及び熊本市内方面との接続に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
23	7	産交バス(株)	桜山經由 玉名市役所・荒尾線	相互間においての通院・通学・買物に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
24	8	産交バス(株)	堅志田經由 松橋・砥用線	計画輸送量が15人未満であるが、砥用方面からの通院・通学に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
25	9	産交バス(株)	日奈久經由 八代・田浦線	相互間においての通院・通学・買物に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
26	10	産交バス(株)	道尻經由 阿蘇環状線	阿蘇市内においての通院・通学に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
27	11	産交バス(株)	テクノ団地經由 熊本・高森線	高森・南阿蘇方面から熊本市内方面への通学・通勤利用
28	1	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 (合志市役所)	合志市から菊陽町を通り熊本市への通勤・通学・買物などの利用
29	1	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	計画輸送量が15人未満であるが、襟野地区等の大牟田市南東部地域唯一の公共交通であり、また荒尾市・庄山地区から大牟田市へ向かう唯一の公共交通であるため、生活交通手段として存続させることが必要である。
30	2	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	新大牟田駅に接続する唯一の公共交通であり、上内校区等の大牟田市北東部地域唯一の公共交通、南関町北部から大牟田市へ向かう唯一の公共交通、沿線の上内小学校児童のバス通学手段であることから、存続させることが必要である。
31	3	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～大牟田駅～久福木団地	当該路線については、大牟田市と熊本県荒尾市の2市を跨いで運行し、JR大牟田駅、西鉄大牟田駅、JR荒尾駅と接続しており、沿線住民の日常生活に必要不可欠な交通手段となっているため、幹線として維持することが妥当である。
32	4	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～大牟田駅～高泉団地～三池中町	当該路線については、大牟田市と熊本県荒尾市の2市を跨いで運行し、JR大牟田駅、西鉄大牟田駅、JR荒尾駅と接続しており、沿線住民の日常生活に必要不可欠な交通手段となっているため、幹線として維持することが妥当である。
33	1	南国交通(株)	水俣線 (佐潟口・水俣車庫線)	阿久根市、出水市、水俣市間の広域交通手段
				左記市間の広域交通手段、特に阿久根市、出水市の商業施設への買い物、水俣市立医療センターへの通院、出水市内立地の5高校への通学手段として必要である。

## 2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果及びその評価手法・測定方法

本計画における定量的な目標は、ダイヤの見直し等により利便性の向上を図り、当該年度1日当たりの輸送量を確保すること、及び効率的な運行を実施することで、行政負担額の縮減と事業者の収益性の向上を図ることとする。系統ごとの目標は以下のとおりである。

事業の効果として、地域間幹線バス系統を維持することにより、広域行政圏の周辺部から中心部への移動手段を持たない人のための生活交通手段を確保することが期待できる。

その評価手法及び測定方法は、事業者からの提供データを基に、各年度において現状値に対する増減の状況を評価する。

番号	事業者名	系統名	1日当たりの輸送量（人）		行政負担額（千円） （国、県、市町村による補助額の合計）		収支率（％） （生産性向上の取組の数値目標）		
			R6年度実績	R8年度目標値	R6年度実績	R8年度目標	R6年度実績	R8年度目標	収支改善率
1	1 熊本バス(株)	直行線	31.1 人	27.0 人	40,203	25,326	50.69%	51.69%	1.00%
2	2 熊本バス(株)	砥用線	23.9 人	19.7 人	14,731	10,591	62.31%	63.42%	1.11%
3	3 熊本バス(株)	辺場・甲佐線	30.2 人	28.3 人	11,671	10,485	70.58%	71.59%	1.01%
4	4 熊本バス(株)	御船・甲佐線	39.5 人	38.5 人	15,982	17,836	69.90%	70.90%	1.00%
5	5 熊本バス(株)	健軍・砥用線	20.6 人	13.6 人	17,412	7,863	56.19%	57.32%	1.13%
6	6 熊本バス(株)	健軍線	51.8 人	51.3 人	19,305	22,346	72.95%	73.96%	1.01%
7	7 熊本バス(株)	健軍・イオン線	23.5 人	22.0 人	8,303	6,488	69.37%	70.38%	1.01%
8	8 熊本バス(株)	宇土線	20.3 人	19.8 人	2,958	1,720	82.22%	83.34%	1.12%
9	9 熊本バス(株)	松橋線	24.7 人	19.8 人	4,908	2,622	79.51%	80.68%	1.17%
10	10 熊本バス(株)	画図線	24.7 人	20.6 人	4,804	3,161	94.05%	95.41%	1.36%
11	11 熊本バス(株)	乙女線	30.0 人	24.5 人	15,921	14,565	65.02%	66.02%	1.00%
12	12 熊本バス(株)	中病・イオン線	45.9 人	43.8 人	5,209	5,337	87.62%	88.84%	1.22%
13	13 熊本バス(株)	江津・イオン線	54.3 人	53.2 人	4,938	3,136	103.17%	104.59%	1.42%
14	14 熊本バス(株)	セイラ・イオン線	56.5 人	57.6 人	6,233	4,763	100.86%	102.24%	1.38%
15	15 熊本バス(株)	城南・志導寺線	23.3 人	21.4 人	3,623	942	96.32%	97.66%	1.34%
16	16 熊本バス(株)	健軍電停・イオン線	18.2 人	13.6 人	8,050	2,371	47.78%	48.79%	1.01%

番号	事業者名	系統名	1日当たりの輸送量（人）		行政負担額（千円） （国、県、市町村による補助額の合計）		収支率（％） （生産性向上の取組の数値目標）		
			R6年度実績	R8年度目標値	R6年度実績	R8年度目標	R6年度実績	R8年度目標	収支改善率
17	1 産交バス(株)	健軍・東無田經由 熊本・御船線	18.0 人	18.0 人	16,729	16,729	40.32%	41.32%	1.00%
18	2 産交バス(株)	河内經由 熊本・小天天線	44.8 人	44.8 人	27,114	27,114	49.97%	50.97%	1.00%
19	3 産交バス(株)	植木・大倉經由 熊本・玉名線	20.1 人	20.1 人	18,182	18,182	44.29%	45.29%	1.00%
20	4 産交バス(株)	菊池經由 山鹿・大津線	26.9 人	26.9 人	56,080	56,080	29.96%	30.96%	1.00%
21	5 産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港經由 本渡・富岡線	22.2 人	22.2 人	49,663	49,663	28.42%	29.42%	1.00%
22	6 産交バス(株)	一町田中央・久玉經由 本渡・牛深線	13.8 人	15.0 人	116,922	116,922	15.64%	16.64%	1.00%
23	7 産交バス(株)	桜山經由 玉名市役所・荒尾線	25.9 人	25.9 人	38,876	38,876	31.38%	32.38%	1.00%
24	8 産交バス(株)	堅志田經由 松橋・砥用線	12.8 人	15.0 人	46,466	46,466	18.55%	19.55%	1.00%
25	9 産交バス(株)	日奈久經由 八代・田浦線	18.9 人	18.9 人	43,166	43,166	18.43%	19.43%	1.00%
26	10 産交バス(株)	道尻經由 阿蘇環状線	31.7 人	31.7 人	33,228	33,228	20.43%	21.43%	1.00%
27	11 産交バス(株)	テクノ団地經由 熊本・高森線	22.6 人	22.6 人	15,770	15,770	63.68%	64.68%	1.00%
28	1 熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 （合志市役所）	24.8 人	26.0 人	567	1,200	71.72%	74.00%	2.28%
29	1 西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	10.6 人	15.0 人	13,100	12,838	26.07%	28.07%	2.00%
30	2 西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	35.6 人	35.6 人	36,929	36,190	36.06%	38.06%	2.00%
31	3 西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～大牟田駅～久福木団地	39.3 人	39.3 人	9,441	9,252	64.48%	66.48%	2.00%
32	4 西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～大牟田駅～高泉団地～三池中町	40.1 人	40.1 人	7,813	7,657	68.88%	70.88%	2.00%
33	1 南国交通(株)	水俣線 （佐潟口・水俣車庫線）	34.9 人	34.9 人	35,927	34,516	47.09%	48.21%	1.12%

3. (表1)地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域間幹線系統)

令和8年度

都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業に 要する国庫補助 額(千円)	特 例 措 置
熊本県	熊本バス(株)	(1) 直行線	12,663.0	
	熊本バス(株)	(2) 砥用線	5,295.5	
	熊本バス(株)	(3) 辺場・甲佐線	5,242.5	
	熊本バス(株)	(4) 御船・甲佐線	8,918.0	
	熊本バス(株)	(5) 健軍・砥用線	3,931.5	
	熊本バス(株)	(6) 健軍線	11,173.0	
	熊本バス(株)	(7) 健軍・イオン線	3,244.0	
	熊本バス(株)	(8) 宇土線	860.0	
	熊本バス(株)	(9) 松橋線	1,311.0	
	熊本バス(株)	(10) 画図線	1,580.5	
	熊本バス(株)	(11) 乙女線	7,282.5	
	熊本バス(株)	(12) 中病・イオン線	2,668.5	
	熊本バス(株)	(13) 江津・イオン線	1,568.0	
	熊本バス(株)	(14) セイラ・イオン線	2,381.5	
	熊本バス(株)	(15) 城南・志導寺線	471.0	
	熊本バス(株)	(16) 健軍電停・イオン線	1,185.5	
	熊本バス(株)	計(16系統)	69,776	
	産交バス(株)	(1) 健軍・東無田經由 熊本・御船線	3,217.0	
	産交バス(株)	(2) 河内經由 熊本・小天線	9,812.5	
	産交バス(株)	(3) 植木・大倉經由 熊本・玉名線	6,044.0	
	産交バス(株)	(4) 菊池經由 山鹿・大津線	7,426.5	

都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業に 要する国庫補助 額(千円)	特 例 措 置
	産交バス(株)	(5) 労働庁舎・鬼池港經由 本渡・富岡線	7,080.5	
	産交バス(株)	(6) 一町田中央・久玉經由 本渡・牛深線	5,879.5	
	産交バス(株)	(7) 桜山經由 玉名市役所・荒尾線	5,233.5	
	産交バス(株)	(8) 堅志田經由 松橋・砥用線	2,426.5	
	産交バス(株)	(9) 日奈久經由 八代・田浦線	4,252.5	
	産交バス(株)	(10) 道尻經由 阿蘇環状線	3,606.5	
	産交バス(株)	(11) テクノ団地經由 熊本・高森線	7,622.0	
	産交バス(株)	計(11系統)	62,601	
	熊本電気鉄道(株)	(1) 377新地団地線 (合志市役所)	706.0	
	熊本電気鉄道(株)	計(1系統)	706	
	西鉄バス大牟田(株)	(1) 西鉄大牟田営業所～大牟田 市立病院・上町～庄山	4.5	
	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公 (2) 園動物園前・大牟田市立病 院・新大牟田駅～南関町役場	1,163.0	
	西鉄バス大牟田(株)	(3) 荒尾駅～右京町～ 大牟田駅～久福木団地	352.5	
	西鉄バス大牟田(株)	(4) 荒尾駅～天領橋～大牟田駅 ～高泉団地～三池中町	310.0	
	西鉄バス大牟田(株)	計(4系統)	1,830	
	南国交通(株)	(1) 水俣線 (佐潟口・水俣車庫線)	2,779.5	
	南国交通(株)	計(1系統)	2,779	
合計(33系統)			137,692	



4.（表2） 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	熊本バス株式会社
------	----------

R8

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間※)の 損益状況	乗合バス事業						R6
	営業収益	628,971千円	営業外収益	26,344千円	経常収益(イ)	655,315千円	
	営業費用	810,555千円	営業外費用	8,745千円	経常費用(ロ)	819,300千円	
	営業損益	△ 181,584千円	営業外損益	17,599千円	経常損益	△ 163,985千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	2,430,016.4 km					経常収支率	79.98 %

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R5
	営業収益	542,093千円	営業外収益	21,910千円	経常収益(イ')	564,003千円	
	営業費用	811,480千円	営業外費用	8,523千円	経常費用(ロ')	820,003千円	
	営業損益	△ 269,387千円	営業外損益	13,387千円	経常損益	△ 256,000千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	2,569,490.8 km					経常収支率	68.78 %

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R4
	営業収益	496,992千円	営業外収益	38,119千円	経常収益(イ'')	535,111千円	
	営業費用	819,413千円	営業外費用	7,650千円	経常費用(ロ'')	827,063千円	
	営業損益	△ 322,421千円	営業外損益	30,469千円	経常損益	△ 291,952千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	2,658,898.8 km					経常収支率	64.70 %

（補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等）

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ''÷ハ''=a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ'÷ハ'=b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間) ロ÷ハ=c
南九州	311円.05銭	319円.13銭	337円.15銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3=ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常費用の差 ニ－ヘ ≒ ケ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
南九州	322円.44銭	349円.88銭	322円.44銭		269円.67銭

3. 旅客運賃の上限変更認可状況

補助ブロック名	認可日	認可を受けた補助対象期間	補助金交付要 綱別表2(注) 4. の適用割合 フ	改定率 コ
南九州		基準期間の 当 年度	1	
南九州	令和5年9月15日	基準期間の 前 年度	2/3	16.77%
南九州		基準期間の 前々 年度	1/3	

## 4. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

熊本バス株式会社

R8

補助ブロック名	申請番号	特例措置	運行系統名	運行系統			計画運行日数	計画運行回数 ( )	計画乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程	系統キロ程と地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程との比率	補助ブロック外乗入部分のキロ程	同一補助ブロック都道府県外乗入部分のキロ程	他路線との競合部分に係るキロ程	他路線との競合率	補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外のキロ程の比率 (「(リ+ヌ+ル)」÷「チ+ニラ」)		
				起点	主な経由地	終点					チ	オ									
南九州	1		直行線	桜町バスターミナル	御船	通瀬山荘	365日	2,435.5回 (6.6回)	4.1	27.0人	往47.3km 復47.3km	(平均) 47.3km		(平均)		(平均)		(平均)	%	100.000	
	2		砥用線	桜町バスターミナル	辺場	砥用学校前	360日	1,518.0回 (4.2回)	4.7	19.7人	往33.8km 復33.8km	(平均) 33.8km		(平均)		(平均)		(平均)	%	100.000	
	3		辺場・甲佐線	桜町バスターミナル	辺場	甲佐	365日	2,169.0回 (5.9回)	4.8	28.3人	往22.9km 復22.9km	(平均) 22.9km		(平均)		(平均)		(平均)	%	100.000	
	4		甲佐・御船線	桜町バスターミナル	御船	甲佐	365日	2,812.5回 (7.7回)	5.0	38.5人	往25.1km 復25.1km	(平均) 25.1km		(平均)		(平均)		(平均)	%	100.000	
	5		健軍・砥用線	桜町バスターミナル	健軍	砥用学校前	360日	1,117.0回 (3.1回)	4.4	13.6人	往37.6km 復37.6km	(平均) 37.6km		(平均)		(平均)		(平均)	%	100.000	
	6		健軍線	桜町バスターミナル	健軍	甲佐	365日	3,499.0回 (9.5回)	5.4	51.3人	往26.7km 復26.7km	(平均) 26.7km		(平均)		(平均)		(平均)	%	100.000	
	7		健軍・イオン線	桜町バスターミナル	東区役所	イオン	360日	1,632.0回 (4.5回)	4.9	22.0人	往18.0km 復18.0km	(平均) 18.0km		(平均)		(平均)		(平均)	%	100.000	
	8		宇土線	桜町バスターミナル	城南	宇土駅	292日	1,060.0回 (3.6回)	5.5	19.8人	往22.0km 復22.0km	(平均) 22.0km		(平均)		(平均)		往12.6km 復12.6km	(平均) 12.6km	% 57.272	42.727
	9		松橋線	桜町バスターミナル	城南	松橋駅	292日	1,060.0回 (3.6回)	5.5	19.8人	往25.1km 復25.1km	(平均) 25.1km		(平均)		(平均)		往12.6km 復12.6km	(平均) 12.6km	% 50.199	49.800
	10		画図線	桜町バスターミナル	画図	城南	360日	1,283.5回 (3.5回)	5.9	20.6人	往18.4km 復18.4km	(平均) 18.4km		(平均)		(平均)		(平均)	%	100.000	
	11		乙女線	桜町バスターミナル	乙女	甲佐	360日	1,799.0回 (4.9回)	5.0	24.5人	往27.9km 復27.9km	(平均) 27.9km		(平均)		(平均)		(平均)	%	100.000	
	12		中病・イオン線	桜町バスターミナル	中央病院	イオン	360日	3,115.0回 (8.6回)	5.1	43.8人	往12.2km 復12.2km	(平均) 12.2km		(平均)		(平均)		(平均)	%	100.000	
	13		江津・イオン線	桜町バスターミナル	江津	イオン	365日	3,474.0回 (9.5回)	5.6	53.2人	往13.9km 復13.9km	(平均) 13.9km		(平均)		(平均)		(平均)	%	100.000	
	14		セイラ・イオン線	桜町バスターミナル	セイラタウン	イオン	365日	3,760.0回 (10.3回)	5.6	57.6人	往12.8km 復12.8km	(平均) 12.8km		(平均)		(平均)		(平均)	%	100.000	
	15		城南・志導寺線	桜町バスターミナル	城南	志導寺	360日	1,249.0回 (3.4回)	6.3	21.4人	往19.5km 復19.5km	(平均) 19.5km		(平均)		(平均)		往12.6km 復12.6km	(平均) 12.6km	% 64.615	35.384
	16		健軍電停・イオン線	健軍電停前	東区役所	イオン	365日	1,730.0回 (4.7回)	2.9	13.6人	往11.1km 復11.1km	(平均) 11.1km		(平均)		(平均)		(平均)	%	100.000	
合計			16系統								往374.3km 復374.3km	往19.5km 復19.5km	374.3km	(平均) 37.8km		(平均)		往37.8km 復37.8km	(平均) 37.8km		

補助 ブロック 名	申請 番号	特例 措置	補助ブロック外乗 入部分及び同一 補助ブロック都道 府県外乗入部分 以外のキロ程の 比率	計画実車走行 キロ	補助対象 経常費用 の見込額	補助対象系統のキロ当たり経常収益														補助対象系統の 経常収益の見込 額	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額	補助対象経費 の限度額	タ又はレのうちい ずれか少ないほう の額	
						補助金交付要綱別表2(注)4 の適用がある場合			3カ年平均			基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間						
						基準期間における 実車走行キロ 当たり経常収益 の適宜改定による 増収分 f×コ÷(1+コ)× フ=g	経常収益控除額 ケとgのいずれか 少ない額 h	補助金交付要綱 別表2(注)4. の 適用後のキロ当 たり経常収益 ノーh=ノ	(d+e+f)/3=ノ	経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ=d	経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ=e	経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ=f						
						ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ													ノ×フ以上の額: ヨ					カーヨ=タ
南九州	1		100.000%	230,398.3km	74,289,627円	159円.78銭	1,121,436円.03銭		159円.78銭	159円.78銭	42,918,558円	275,818.5km	155円.60銭	40,893,654円	267,507.6km	152円.86銭	45,312,404円	265,131.9 km	170円.90銭	36,813,040円	37,476,587円	33,430,332円	33,430,332円	
	2		100.000%	102,616.8km	33,087,760円	177円.94銭	1,378,401円.72銭		177円.94銭	177円.94銭	23,314,956円	158,346.6km	147円.24銭	24,604,768円	139,384.8km	176円.52銭	26,433,001円	125,834.6 km	210円.06銭	18,259,633円	14,828,127円	14,889,492円	14,828,127円	
	3		100.000%	99,340.2km	32,031,254円	197円.89銭	1,561,414円.30銭		197円.89銭	197円.89銭	19,258,017円	104,103.4km	184円.98銭	17,591,378円	103,027.1km	170円.74銭	25,033,857円	105,202.6 km	237円.95銭	19,658,432円	12,372,822円	14,414,064円	12,372,822円	
	4		100.000%	141,187.5km	45,524,497円	196円.11銭	1,546,453円.07銭		196円.11銭	196円.11銭	24,052,405円	142,593.1km	168円.67銭	27,329,300円	148,516.7km	184円.01銭	34,303,368円	145,554.9 km	235円.67銭	27,688,280円	17,836,217円	20,486,023円	17,836,217円	
	5		100.000%	83,998.4km	27,084,444円	166円.13銭	1,243,160円.07銭		166円.13銭	166円.13銭	24,268,863円	160,208.4km	151円.48銭	20,952,618円	133,060.3km	157円.46銭	24,098,348円	127,198.4 km	189円.45銭	13,954,654円	13,129,790円	12,187,999円	12,187,999円	
	6		100.000%	186,846.6km	60,246,817円	202円.84銭	1,613,975円.47銭		202円.84銭	202円.84銭	30,856,901円	170,292.6km	181円.19銭	33,742,854円	186,018.9km	181円.39銭	46,135,110円	187,567.5 km	245円.96銭	37,899,964円	22,346,853円	27,111,067円	22,346,853円	
	7		100.000%	58,752.0km	18,943,994円	198円.19銭	1,534,772円.82銭		198円.19銭	198円.19銭	16,189,822円	97,794.0km	165円.55銭	12,445,715円	63,774.0km	195円.15銭	14,516,495円	62,064.0 km	233円.89銭	11,644,058円	7,299,936円	8,524,797円	7,299,936円	
	8		100.000%	46,640.0km	15,038,601円	236円.08銭	1,818,904円.94銭		236円.08銭	236円.08銭	10,340,849円	47,546.4km	217円.48銭	9,928,019円	46,486.0km	213円.57銭	13,190,511円	47,586.0 km	277円.19銭	11,010,771円	4,027,830円	6,767,370円	4,027,830円	
	9		100.000%	53,212.0km	17,157,677円	223円.46銭	1,759,125円.64銭		223円.46銭	223円.46銭	13,356,504円	67,583.6km	197円.62銭	13,966,794円	68,231.6km	204円.69銭	17,858,567円	66,615.4 km	268円.08銭	11,890,753円	5,266,924円	7,720,954円	5,266,924円	
	10		100.000%	47,232.8km	15,229,744円	255円.51銭	2,080,595円.22銭		255円.51銭	255円.51銭	11,965,051円	56,881.0km	210円.35銭	13,719,222円	57,371.2km	239円.13銭	18,004,507円	56,782.4 km	317円.07銭	12,068,452円	3,161,292円	6,853,384円	3,161,292円	
	11		100.000%	100,384.2km	32,367,881円	174円.66銭	1,438,443円.49銭		174円.66銭	174円.66銭	20,223,557円	134,785.1km	150円.04銭	19,274,224円	124,545.6km	154円.75銭	26,653,594円	121,588.2 km	219円.21銭	17,533,104円	14,834,777円	14,565,546円	14,565,546円	
	12		100.000%	76,006.0km	24,507,374円	252円.21銭	1,938,529円.16銭		252円.21銭	252円.21銭	22,566,200円	105,932.6km	213円.02銭	21,533,632円	86,756.9km	248円.20銭	23,470,314円	79,446.4 km	295円.42銭	19,169,473円	5,337,901円	11,028,318円	5,337,901円	
	13		100.000%	96,577.2km	31,140,352円	289円.96銭	2,282,440円.59銭		289円.96銭	289円.96銭	38,826,260円	154,393.4km	251円.47銭	29,451,039円	108,837.0km	270円.59銭	34,168,694円	98,233.8 km	347円.83銭	28,003,524円	3,136,828円	14,013,158円	3,136,828円	
	14		100.000%	96,256.0km	31,036,784円	272円.95銭	2,231,454円.29銭		272円.95銭	272円.95銭	18,367,726円	89,100.8km	206円.14銭	26,132,829円	95,846.4km	272円.65銭	32,062,653円	94,284.8 km	340円.06銭	26,273,075円	4,763,709円	13,966,552円	4,763,709円	
	15		100.000%	48,711.0km	15,706,374円	267円.77銭	2,130,925円.33銭		267円.77銭	267円.77銭	12,318,709円	51,697.8km	238円.28銭	12,375,696円	51,498.1km	240円.31銭	16,825,439円	51,811.5 km	324円.74銭	13,043,344円	2,663,030円	7,067,868円	2,663,030円	
	16		100.000%	38,406.0km	12,383,630円	151円.01銭	1,057,063円.37銭		151円.01銭	151円.01銭	5,654,302円	36,341.4km	155円.58銭	7,509,358円	55,067.1km	136円.36銭	8,293,642円	51,481.8 km	161円.09銭	5,799,690円	6,583,940円	5,572,633円	5,572,633円	
合計				1,506,565.0km	485,776,810円						334,478,680円	1,853,418.7km		331,451,100円	1,735,929.3km		406,360,504円	1,686,384.2km		310,710,247円	175,066,563円	218,599,557円	168,797,979円	

補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分、同一補助ブ ロック都道府県 外乗入部分及び 他路線との競合 部分以外に係る もの  ソ×ヲ＝ツ	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分及び同一補助 ブロック都道府県 外乗入部分以外 に係るもの  ソ×ヨ'＝ヅ'	計画平均乗車 密度が5人 未満の路線  ツ×メなし運行 回数／①計画運	補助対象経費  ナ	計画額  ナ×1/2＝ラ	経常費用から 経常収益を控除 した額  ニ×マ－ヨ＝ム	損失額から国庫 補助額を控除し た額  ム－ラ＝ウ	ウの負担者とその負担割合								
										都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要
										負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	
南 九 州	1		33,430,332円	33,430,332円	25,326,009円	25,326 千円	12,663.0千円	37,476,587円	24,813,587円	12,663,000円	51.0%					12,150,587円	49.0%	
	2		14,828,127円	14,828,127円	10,591,519円	10,591 千円	5,295.5千円	14,828,127円	9,532,627円	5,295,500円	55.6%					4,237,127円	44.4%	
	3		12,372,822円	12,372,822円	10,485,442円	10,485 千円	5,242.5千円	12,372,822円	7,130,322円	5,242,500円	73.5%					1,887,822円	26.5%	
	4		17,836,217円	17,836,217円		17,836 千円	8,918.0千円	17,836,217円	8,918,217円	8,918,000円	100.0%					217円		
	5		12,187,999円	12,187,999円	7,863,225円	7,863 千円	3,931.5千円	13,129,790円	9,198,290円	3,931,500円	42.7%					5,266,790円	57.3%	
	6		22,346,853円	22,346,853円		22,346 千円	11,173.0千円	22,346,853円	11,173,853円	11,173,000円	100.0%					853円		
	7		7,299,936円	7,299,936円	6,488,832円	6,488 千円	3,244.0千円	7,299,936円	4,055,936円	3,244,000円	80.0%					811,936円	20.0%	
	8		1,720,970円	4,027,830円		1,720 千円	860.0千円	4,027,830円	3,167,830円	860,000円	27.1%					2,307,830円	72.9%	
	9		2,622,928円	5,266,924円		2,622 千円	1,311.0千円	5,266,924円	3,955,924円	1,311,000円	33.1%					2,644,924円	66.9%	
	10		3,161,292円	3,161,292円		3,161 千円	1,580.5千円	3,161,292円	1,580,792円	1,580,500円	100.0%					292円		
	11		14,565,546円	14,565,546円		14,565 千円	7,282.5千円	14,834,777円	7,552,277円	7,282,500円	96.4%					269,777円	3.6%	
	12		5,337,901円	5,337,901円		5,337 千円	2,668.5千円	5,337,901円	2,669,401円	2,668,500円	100.0%					901円		
	13		3,136,828円	3,136,828円		3,136 千円	1,568.0千円	3,136,828円	1,568,828円	1,568,000円	99.9%					828円	0.1%	
	14		4,763,709円	4,763,709円		4,763 千円	2,381.5千円	4,763,709円	2,382,209円	2,381,500円	100.0%					709円		
	15		942,286円	2,663,030円		942 千円	471.0千円	2,663,030円	2,192,030円	471,000円	21.5%					1,721,030円	78.5%	
	16		5,572,633円	5,572,633円	2,371,333円	2,371 千円	1,185.5千円	6,583,940円	5,398,440円	1,185,500円	22.0%					4,212,940円	78.0%	
合計			162,126,379円	168,797,979円	63,126,360円	139,552 千円	69,776千円	175,066,563円	105,290,563円	69,776,000円	66.3%					35,514,563円	33.7%	

4.（表2） 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	産交バス株式会社
------	----------

R8

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間 <sup>※</sup> )の 損益状況	乗合バス事業						R6
	営業収益	753,933千円	営業外収益	30,841千円	経常収益(イ)	784,774千円	
	営業費用	3,079,138千円	営業外費用	10,334千円	経常費用(ロ)	3,089,472千円	
	営業損益	△ 2,325,205千円	営業外損益	20,507千円	経常損益	△ 2,304,698千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	8,794,834.1 km					経常収支率 25.40 %	

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R5
	営業収益	683,514千円	営業外収益	60,974千円	経常収益(イ')	744,488千円	
	営業費用	2,978,817千円	営業外費用	9,562千円	経常費用(ロ')	2,988,379千円	
	営業損益	△ 2,295,303千円	営業外損益	51,412千円	経常損益	△ 2,243,891千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	9,585,089.5 km					経常収支率 24.91 %	

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R4
	営業収益	612,272千円	営業外収益	139,517千円	経常収益(イ'')	751,789千円	
	営業費用	2,941,670千円	営業外費用	13,028千円	経常費用(ロ'')	2,954,698千円	
	営業損益	△ 2,329,398千円	営業外損益	126,489千円	経常損益	△ 2,202,909千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	9,747,181.1 km					経常収支率 25.44 %	

（補助対象事業者の「基準期間<sup>※</sup>を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等）

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ''÷ハ''=a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ'÷ハ'=b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間) ロ÷ハ=c
南九州	303円.13銭	311円.77銭	351円.28銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3=ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常費用の差 ニ－ヘ = ケ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
南九州	322円.06銭	349円.88銭	322円.06銭		89円.23銭

3. 旅客運賃の上限変更認可状況

補助ブロック名	認可日	認可を受けた補助対象期間	補助金交付要 綱別表2（注） 4. の適用割合 フ	改定率 コ
南九州		基準期間の 当 年度	1	
南九州		基準期間の 前 年度	2/3	
南九州		基準期間の 前々 年度	1/3	

4. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

産交バス株式会社

R8

補助 ブロッ ク名	申 請 番 号	特 例 措 置	運行 系統名	運行系 統			計画運 行日数	計画運行回数 ( )	計画平 均乗車 密度	計画輸 送量	系統キロ程		地域公共交通再編事業を 実施する区域におけるキ ロ程	系統キロ程と地 域公共交通再編 事業を実施する 区域におけるキ ロ程との比率	補助ブロック外 乗入部分のキロ程	同一補助ブロック都道府 県外乗入部分のキロ程	他路線との競合 部分に係るキロ程	他路線との競合 率	補助ブロック外乗 入部分、同一補 助ブロック都道府 県外乗入部分及 び他路線との競 合部分以外のキ ロ程の比率  (チー(リ+ヌ+ ル))÷チ=ミ	
				起点	主な 経由地	終点					チ	オ								
																				オ÷チ=ク
南九州	1		健軍・東無田經由 熊本・御船線	桜町 バスターミナル	健軍 東無田入口	御船	365日	2,479.0回 (6.7回)	2.7	18.0人	往20.0km 復20.0km	(平均) 20.0km		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	2		河内經由 熊本・小矢線	桜町 バスターミナル	西区役所前 河内亀石	小矢温泉	365日	4,224.0回 (11.5回)	3.9	44.8人	往22.5km 復22.5km	(平均) 22.5km		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	3		植木・大倉經由 熊本・玉名線	桜町 バスターミナル	植木 木葉駅前 大倉団地入口	玉名駅前	362日	2,038.0回 (5.6回)	3.6	20.1人	往29.1km 復28.2km	(平均) 28.6km		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	4		菊池經由 山鹿・大津線	山鹿 バスセンター	菊池プラザ 翔陽高校入口	肥後大津駅	365日	3,079.0回 (8.4回)	2.9	24.3人	往35.0km 復34.9km	(平均) 34.9km		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	5		芳崎庁舎・鬼池港經由 本渡・富岡線	本渡 バスセンター	芳崎庁舎前 鬼池港 寄北町役場前	富岡港	365日	3,264.5回 (8.9回)	2.5	22.2人	往33.3km 復33.3km	(平均) 33.3km		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	6		一町田中央・久玉經由 本渡・牛深線	本渡 バスセンター	新倉 一町田中央 久玉	牛深市民病院	365日	3,638.0回 (9.9回)	1.4	13.8人	往55.2km 復55.2km	(平均) 55.2km		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	7		桜山經由 玉名市役所・荒尾線	玉名市役所前	玉名駅前 桜山	バスセンター	365日	4,333.0回 (11.8回)	2.2	25.9人	往20.0km 復19.3km	(平均) 19.6km		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	8		笠志田經由 松橋・砥用線	松橋駅前	松橋産交 笠志田	砥用中央	365日	3,617.0回 (9.9回)	1.3	12.8人	往22.6km 復22.6km	(平均) 22.6km		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	9		日奈久經由 八代・田浦線	八代市役所前	八代工業高校前 日奈久温泉前	道の駅たのうら	365日	2,905.0回 (7.9回)	2.4	18.9人	往26.6km 復26.6km	(平均) 26.6km		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	10		道尻經由 阿蘇環状線	阿蘇医療セン ター	阿蘇駅前 道尻	阿蘇駅前	365日	5,549.0回 (15.2回)	2.1	31.9人	往23.3km 復23.3km	(平均) 23.3km		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
	11		テクノ団地經由 熊本・高森線	西部車庫	桜町バスターミナ ル テクノ団地入口	高森駅交流施設	365日	1,095.0回 (3.0回)	7.8	23.4人	往60.0km 復58.3km	(平均) 59.1km		(平均)		(平均)		(平均)	%	% 100.000
合計			11系統								往347.86km 復344.25km	(平均) 345.7km		(平均)		(平均)		(平均)		

補助 ブロック 名	申請 番号	特 例 措 置  (チー(リ+ス)÷チ=ゾ)	計画実車走行 キロ  ワ	補助対象 経常費用 の見込額  ヘ×ワ以下の 額:カ	補助対象系統のキロ当たり経常収益											補助対象系統の 経常収益の見込 額  ノ×フ以上の額: ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額  カーヨ=タ	補助対象経費 の限度額  カ×9/20=レ	タ又はレのうちい ずれか少ないほう の額  ソ			
					補助金交付要綱別表2(注)4 の適用がある場合			3カ年平均	基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間							
					基準期間における 実車走行キロ 当たり経常収益 の運賃改定による 増収分 f×コ÷(1+コ)× フ=g	経常収益控除額 ケとgのいずれか 少ない額 h	補助金交付要綱 別表2(注)4. の 適用後のキロ当 たり経常収益 ノーh=ノ'	(d+e+f)/3=ノ'	経常収益 ヤ'	実車走行 キロ マ'	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ'/÷マ'=d	経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ=e	経常収益 ヤ					実車走行 キロ マ	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ=f	
南 九 州	1		100.000%	99,160.0km	31,935,469円	134円.60銭		134円.60銭	134円.60銭	13,364,790円	98,800.0km	135円.27銭	12,524,361円	98,700.0km	126円.89銭	14,012,047円	98,920.0 km	141円.65銭	13,346,936円	18,588,533円	14,370,961円	14,370,961円
	2		100.000%	194,659.0km	62,691,877円	162円.16銭		162円.16銭	162円.16銭	30,559,212円	194,446.8km	157円.15銭	29,971,121円	194,840.9km	153円.82銭	34,083,178円	194,173.2 km	175円.52銭	31,565,903円	31,125,974円	28,211,344円	28,211,344円
	3		100.000%	116,777.4km	37,609,329円	153円.14銭		153円.14銭	153円.14銭	18,805,192円	117,350.4km	160円.24銭	16,892,775円	117,606.9km	143円.63銭	18,140,166円	116,605.5 km	155円.56銭	17,883,291円	19,726,038円	16,924,198円	16,924,198円
	4		100.000%	215,222.1km	69,314,429円	97円.33銭		97円.33銭	97円.33銭	25,750,775円	267,693.1km	96円.19銭	24,451,258円	269,965.4km	90円.57銭	25,612,906円	243,349.8 km	105円.25銭	20,947,566円	48,366,863円	31,191,493円	31,191,493円
	5		100.000%	217,415.7km	70,020,900円	87円.25銭		87円.25銭	87円.25銭	23,842,042円	304,086.0km	78円.40銭	21,788,426円	260,808.4km	83円.54銭	21,613,116円	216,483.3 km	99円.83銭	18,969,519円	51,051,381円	31,509,405円	31,509,405円
	6		100.000%	401,635.2km	129,350,632円	55円.76銭		55円.76銭	55円.76銭	23,465,191円	399,427.2km	58円.74銭	21,404,507円	399,040.8km	53円.63銭	21,975,549円	400,034.4 km	54円.93銭	22,395,178円	106,955,454円	58,207,784円	58,207,784円
	7		100.000%	170,453.5km	54,896,254円	113円.08銭		113円.08銭	113円.08銭	20,480,458円	170,770.7km	119円.92銭	18,690,052円	171,300.9km	109円.10銭	18,754,743円	170,139.1 km	110円.23銭	19,274,881円	35,621,373円	24,703,314円	24,703,314円
	8		100.000%	165,766.0km	53,386,597円	70円.22銭		70円.22銭	70円.22銭	12,925,276円	165,699.0km	78円.00銭	11,178,385円	165,570.4km	67円.51銭	10,777,375円	165,351.5 km	65円.17銭	11,640,088円	41,746,509円	24,023,968円	24,023,968円
	9		100.000%	154,546.0km	49,773,084円	63円.98銭		63円.98銭	63円.98銭	10,355,098円	153,322.4km	67円.53銭	9,166,892円	153,641.6km	59円.66銭	9,979,531円	154,120.4 km	64円.75銭	9,887,853円	39,885,231円	22,397,887円	22,397,887円
	10		100.000%	126,100.2km	40,611,830円	59円.80銭		59円.80銭	59円.80銭	6,581,661円	126,211.8km	52円.14銭	7,035,457円	126,805.8km	55円.48銭	9,016,286円	125,606.4 km	71円.78銭	7,540,791円	33,071,039円	18,275,323円	18,275,323円
	11		100.000%	129,538.5km	41,719,169円	204円.38銭		204円.38銭	204円.38銭	26,353,330円	150,232.2km	175円.41銭	27,628,375円	129,074.4km	214円.04銭	28,862,518円	129,023.8 km	223円.69銭	26,475,078円	15,244,091円	18,773,626円	15,244,091円
合計				1,991,273.6km	641,309,570円					212,483,025円	2,148,039.6km		200,731,609円	2,087,355.5km		212,827,415円	2,013,807.4km		199,927,084円	441,382,486円	288,589,303円	285,059,768円

補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分、同一補助 ブロック都道府 県外乗入部分 及び他路線 との競合部分 以外に係るもの	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分及び同一補助 ブロック都道府 県外乗入部分 以外に係るもの	計画平均乗車 密度が5人 未満の路線	補助対象経費	計画額	経常費用から 経常収益を控除 した額	損失額から国庫 補助額を控除し た額	ウの負担者とその負担割合								
										都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要
										負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	
南 九 州	1		14,370,961円	14,370,961円	6,434,758円	6,434 千円	3,217.0千円	18,588,533円	15,371,533円	3,217,000円	20.9%					12,154,533円	79.1%	
	2		28,211,344円	28,211,344円	19,625,282円	19,625 千円	9,812.5千円	31,125,974円	21,313,474円	9,812,500円	46.0%					11,500,974円	54.0%	
	3		16,924,198円	16,924,198円	12,088,712円	12,088 千円	6,044.0千円	19,726,038円	13,682,038円	6,044,000円	44.2%					7,638,038円	55.8%	
	4		31,191,493円	31,191,493円	14,853,091円	14,853 千円	7,426.5千円	48,366,863円	40,940,363円	7,426,500円	18.1%					33,513,863円	81.9%	
	5		31,509,405円	31,509,405円	14,161,530円	14,161 千円	7,080.5千円	51,051,381円	43,970,881円	7,080,500円	16.1%					36,890,381円	83.9%	
	6		58,207,784円	58,207,784円	11,759,148円	11,759 千円	5,879.5千円	106,955,454円	101,075,954円	5,879,500円	5.8%					95,196,454円	94.2%	
	7		24,703,314円	24,703,314円	10,467,505円	10,467 千円	5,233.5千円	35,621,373円	30,387,873円	5,233,500円	17.2%					25,154,373円	82.8%	
	8		24,023,968円	24,023,968円	4,853,326円	4,853 千円	2,426.5千円	41,746,509円	39,320,009円	2,426,500円	6.2%					36,893,509円	93.8%	
	9		22,397,887円	22,397,887円	8,505,526円	8,505 千円	4,252.5千円	39,885,231円	35,632,731円	4,252,500円	11.9%					31,380,231円	88.1%	
	10		18,275,323円	18,275,323円	7,213,943円	7,213 千円	3,606.5千円	33,071,039円	29,464,539円	3,606,500円	12.2%					25,858,039円	87.8%	
	11		15,244,091円	15,244,091円		15,244 千円	7,622.0千円	15,244,091円	7,622,091円	7,622,000円	100.0%					91円		
合計			285,059,768円	285,059,768円	109,962,821円	125,202 千円	62,601千円	441,382,486円	378,781,486円	62,601,000円	16.5%					316,180,486円	83.5%	



4.（表2） 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	熊本電気鉄道株式会社
------	------------

R8

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間 <sup>※</sup> )の 損益状況	乗合バス事業						R6
	営業収益	872,472千円	営業外収益	3,001千円	経常収益(イ)	875,473千円	
	営業費用	989,913千円	営業外費用	12,146千円	経常費用(ロ)	1,002,059千円	
	営業損益	△ 117,441千円	営業外損益	△ 9,145千円	経常損益	△ 126,586千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	2,386,368.9 km					経常収支率	87.36 %

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R5
	営業収益	746,634千円	営業外収益	7,741千円	経常収益(イ')	754,375千円	
	営業費用	956,213千円	営業外費用	9,596千円	経常費用(ロ')	965,809千円	
	営業損益	△ 209,579千円	営業外損益	△ 1,855千円	経常損益	△ 211,434千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	2,365,826.0 km					経常収支率	78.10 %

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R4
	営業収益	690,174千円	営業外収益	4,531千円	経常収益(イ'')	694,705千円	
	営業費用	918,557千円	営業外費用	9,920千円	経常費用(ロ'')	928,477千円	
	営業損益	△ 228,383千円	営業外損益	△ 5,389千円	経常損益	△ 233,772千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	2,396,959.7 km					経常収支率	74.82 %

（補助対象事業者の「基準期間<sup>※</sup>を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等）

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ''÷ハ''=a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ'÷ハ'=b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間) ロ÷ハ=c
南九州	387円.35銭	408円.23銭	419円.90銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3=ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常費用の差 ニ－ヘ = ケ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
南九州	405円.16銭	349円.88銭	349円.88銭	55.28	366円.86銭

3. 旅客運賃の上限変更認可状況

補助ブロック名	認可日	認可を受けた補助対象期間	補助金交付要 綱別表2(注) 4. の適用割合 フ	改定率 コ
南九州	2023.9.15	基準期間の 当 年度	1	15.88%
南九州		基準期間の 前 年度	2/3	
南九州		基準期間の 前々 年度	1/3	

4. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

熊本電気鉄道株式会社																	R8							
補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合																								
補助 ブロック 名	申 請 番 号	特 例 措 置	運行 系統名	運行系統			計画運行 回数 ( )	計画平均乗車 密度	計画輸 送量	系統キロ程		地域公共交通再編事業を 実施する区域におけるキ ロ程	系統キロ程と地 域公共交通再編 事業を実施する 区域におけるキ ロ程との比率	補助ブロック外 乗入部分のキロ程	同一補助ブロック都道府 県外乗入部分のキロ程	他路線との競合 部分に係るキロ程	他路線との競合 率	補助ブロック外乗 入部分、同一補 助ブロック都道府 県外乗入部分及 び他路線との競 合部分以外のキ ロ程の比率  (「リ」＋「ヌ」 ＋「ル」) ÷ 「チ」						
				起点	主な 経由地	終点				子									オ	オ ÷ チ = ク	リ	ヌ	ル	ル ÷ チ
										①＝カッコ内	②								①×② ＝③					
南九州	1		377新地団地線 (合志市役所)	交通 センター	三軒町 新地団地	合志市役所	242回	1,448.0回  (5.9回)	6.2	36.5人	往17.2km  復17.2km	(平均)  17.2km	(平均)		(平均)		(平均)	往12.3km  復12.3km	(平均)  12.3km	%  71.511	%  28.488			
合計			1系統								往17.2km 復17.2km	(平均) 17.2km	(平均)		(平均)		(平均)	往12.3km 復12.3km	(平均) 12.3km					

熊本電気鉄道株式会社																				R8			
補助 ブロック 名	申請 番号	特例 措置	補助ブロック外乗 入部分及び同一 補助ブロック都道 府県外乗入部分 以外のキロ程の 比率  (「チー(リ+ヌ)÷ チ=ヲ」)	計画実車走行 キロ  ワ	補助対象 経常費用 の見込額  ヘ×ワ以下の 額:カ	補助対象系統のキロ当たり経常収益											補助対象系統の 経常収益の見込 額  ノ×ワ以上の額: ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額  カーヨ=タ	補助対象経費 の限度額  カ×9/20=レ	タ又はレのうちい ずれか少ないほう の額  ソ			
						補助金交付要綱別表2(注)4 の適用がある場合			3カ年平均	基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間							
						基準期間におけ る実車走行キロ 当たり経常収益 の速算改定による 増分 f×ヨ÷(1+キ)× フ=g	経常収益控除額 ケとgのいずれか 少ない額 h	補助金交付要綱 別表2(注)4.の 適用後のキロ当 たり経常収益 ノーh=ノ	(d+e+f)÷3=ノ	経常収益 ヤ''	実車走行 キロ マ''	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ''÷マ''=d	経常収益 ヤ'	実車走行 キロ マ'	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ'÷マ'=e	経常収益 ヤ					実車走行 キロ マ	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ=f	
南九州	1		100.000%	49,811.2km	17,427,942円	250円.33銭	42円.45銭	42円.45銭	250円.33銭	292円.78銭	13,935,611円	49,536.0km	281円.32銭	14,308,221円	49,811.2km	287円.24銭	15,389,090円	49,673.6 km	309円.80銭	12,469,237円	4,958,705円	7,842,573円	4,958,705円
合計				49,811.2km	17,427,942円						13,935,611円	49,536.0km		14,308,221円	49,811.2km		15,389,090円	49,673.6km		12,469,237円	4,958,705円	7,842,573円	4,958,705円

熊本電気鉄道株式会社																	R8		
補助ブロック名	申請番号	特例措置	ソのうち補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外に係るもの ソ×ヲ=ツ	ソのうち補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外に係るもの ソ×ヲ'=ツ'	計画平均乗車密度が5人未満の路線 ソ×みなし運行回数÷①計画運	補助対象経費	ナ	計画額 ナ×1/2=ラ	経常費用から経常収益を控除した額 ニ×ワ-ヨ=ム	損失額から国庫補助額を控除した額 ム-ラ=ウ	ウの負担者とその負担割合								
											都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要
											負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	
南九州	1		1,412,635円	4,958,705円		1,412 千円	706,0千円	7,712,268円	7,006,268円	706,000円	10.1%					6,300,268円	89.9%		
合計			1,412,635円	4,958,705円		1,412 千円	706千円	7,712,268円	7,006,268円	706,000円	10.1%					6,300,268円	89.9%		

4.（表2） 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	西鉄バス大牟田株式会社
------	-------------

R8

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間※)の 損益状況	乗合バス事業						R6
	営業収益	211,547千円	営業外収益	9,966千円	経常収益(イ)	221,513千円	
	営業費用	327,422千円	営業外費用	112千円	経常費用(ロ)	327,534千円	
	営業損益	△ 115,875千円	営業外損益	9,854千円	経常損益	△ 106,021千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	1,074,757.7 km					経常収支率	67.63 %

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R5
	営業収益	211,905千円	営業外収益	16,468千円	経常収益(イ')	228,373千円	
	営業費用	340,536千円	営業外費用	687千円	経常費用(ロ')	341,223千円	
	営業損益	△ 128,631千円	営業外損益	15,781千円	経常損益	△ 112,850千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	1,114,650.9 km					経常収支率	66.92 %

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R4
	営業収益	215,424千円	営業外収益	5,541千円	経常収益(イ'')	220,965千円	
	営業費用	320,805千円	営業外費用	684千円	経常費用(ロ'')	321,489千円	
	営業損益	△ 105,381千円	営業外損益	4,857千円	経常損益	△ 100,524千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	1,106,626.2 km					経常収支率	68.73 %

（補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等）

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ'÷ハ''=a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ'÷ハ'=b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間) ロ÷ハ=c
南九州	290円.51銭	306円.12銭	304円.75銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3=ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常費用の差 ニ－ヘ＝ケ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
南九州	300円.46銭	349円.88銭	300円.46銭		206円.10銭

3. 旅客運賃の上限変更認可状況

補助ブロック名	認可日	認可を受けた補助対象期間	補助金交付要 綱別表2(注) 4.の適用割合 フ	改定率 コ
南九州	令和6年7月31日	基準期間の 当 年度	1	32.06%
南九州		基準期間の 前 年度	2/3	
南九州		基準期間の 前々 年度	1/3	

## 18

R8

補助 ブ ロ ッ ク 名	申請 番 号	特 別 措 置	補助ブロック外乗入 部分及び同 補助ブロック都道 府県外乗入部分 以外のキロ程の 比率	計画実車走行 キロ	補助対象 経常費用 の見込額	補助対象系統のキロ当たり経常収益												補助対象系統の 経常収益の見込 額	補助対象系統 費用から経常 収益を控除した 額	補助対象経費 の限度額	タ又はののうちい ずれか少ないほう の額	
						補助金交付要綱別表2(注)4 の適用がある場合																
						3カ年平均			基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間							
						基準期間における 実車走行キロ 当たり経常収益 の運賃改定による 増収分 f×ユコニ(1+コ)× フ=g	経常収益除額 ケとgのいずれか 少ない額 h	補助金交付要綱 別表2(注)4.の 適用後のキロ当 たり経常収益 ノ=ハ=ノ	(d+e+f)÷3=ノ	経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ=d	経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ=e	経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ					補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ=f
南九州	1		0.952%	58,119.6km	17,462.615円	81円.80銭	19円.28銭	81.8	81円.80銭	4,230.342円	58,035.6km	72円.89銭	5,402.684円	58,041.9km	93円.08銭	4,619.122円	58,144.8 km	79円.44銭	4,754.183円	12,708.432円	7,858.176円	7,858.176円
	2		20.526%	191,444.4km	57,521.384円	110円.94銭	26円.67銭	110円.94銭	110円.94銭	20,031.418円	185,044.2km	108円.25銭	21,706.100円	189,226.8km	114円.70銭	20,823.144円	189,507.2 km	109円.88銭	21,238.841円	36,282.543円	25,884.622円	25,884.622円
	3		12.711%	87,832.1km	26,390.032円	194円.10銭	47円.69銭	194円.10銭	194円.10銭	16,251.909円	87,219.5km	186円.33銭	17,394.838円	87,184.4km	199円.51銭	17,135.230円	87,208.1 km	196円.48銭	17,048.210円	9,341.822円	11,875.514円	9,341.822円
	4		13.513%	83,079.7km	24,962.126円	205円.59銭	50円.96銭	205円.59銭	205円.59銭	16,314.861円	82,438.4km	197円.90銭	17,232.189円	82,462.6km	208円.96銭	17,296.314円	82,394.4 km	209円.92銭	17,080.355円	7,881.771円	11,232.956円	7,881.771円
合計				420,475.8km	126,336.157円					56,828.530円	412,737.7km		61,735.811円	416,915.7km		59,873.810円	417,254.5km		60,121.589円	66,214.568円	56,851.268円	50,966.391円

R8

補助プロジェクト名	申請番号	特例措置部分	ソのうち補助プロジェクト外入部分、同一補助プロジェクト都道府県外入部分及び他都道府県部分以外に係るもの	ソのうち補助プロジェクト外入部分及び同一補助プロジェクト都道府県外入部分以外に係るものに係るもの	計画平均乗車密度が6人未満の路線	補助対象経費	計画額	経常費用から経常収益を控除した額	損失額から在庫補助額を控除した額	ウの負担者とその負担割合								
			ソ×ラ＝ツ	ソ×ラ＝ゾ	ツ×ミなし運行回数×①計画運賃	ナ	ナ×1/2＝ラ	ニ×ワヨ＝ム	ム＝ラ＝ウ	都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要
			負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合		
南九州	1		74,809円	74,809円	9,843円	9 千円	4.5千円	12,708,432円	12,703,932円	4,500円		11,670,932円	91.9%	1,028,500円	8.1%			福岡県内在庫補助金見込額（国、福岡県）
	2		5,313,077円	5,313,077円	2,326,895円	2,326 千円	1,163.0千円	38,282,543円	35,119,543円	1,163,000円	3.3%	23,784,543円	67.7%	10,172,000円	29.0%			福岡県内在庫補助金見込額（国、福岡県、南関県、幸田市）
	3		1,187,438円	1,187,438円	705,408円	705 千円	352.5千円	9,341,822円	8,989,322円	352,500円	3.9%	3,440,322円	38.3%	5,196,500円	57.8%			福岡県内在庫補助金見込額（国、福岡県、荒尾市、幸田市）
	4		1,065,063円	1,065,063円	620,425円	620 千円	310.0千円	7,881,771円	7,571,771円	310,000円	4.1%	2,981,771円	39.4%	4,280,000円	56.5%			福岡県内在庫補助金見込額（国、福岡県、荒尾市、幸田市）
	合計		7,640,387円	7,640,387円	3,662,571円	3,660 千円	1,830千円	66,214,568円	64,384,568円	1,830,000円	2.8%	41,877,568円	65.0%	20,677,000円	32.1%			

4.（表2） 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	南国交通株式会社
------	----------

R8

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間 <sup>※</sup> )の 損益状況	乗合バス事業						R6
	営業収益	2,422,771千円	営業外収益	24,194千円	経常収益(イ)	2,446,965千円	
	営業費用	2,727,493千円	営業外費用	12,706千円	経常費用(ロ)	2,740,199千円	
	営業損益	△ 304,722千円	営業外損益	11,488千円	経常損益	△ 293,234千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	8,637,346.6 km					経常収支率	89.29 %

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R5
	営業収益	2,295,646千円	営業外収益	7,839千円	経常収益(イ')	2,303,485千円	
	営業費用	2,741,880千円	営業外費用	9,159千円	経常費用(ロ')	2,751,039千円	
	営業損益	△ 446,234千円	営業外損益	△ 1,320千円	経常損益	△ 447,554千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	9,010,733.5 km					経常収支率	83.73 %

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R4
	営業収益	2,036,629千円	営業外収益	16,016千円	経常収益(イ'')	2,052,645千円	
	営業費用	2,821,745千円	営業外費用	10,050千円	経常費用(ロ'')	2,831,795千円	
	営業損益	△ 785,116千円	営業外損益	5,966千円	経常損益	△ 779,150千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	9,397,925.6 km					経常収支率	72.48 %

（補助対象事業者の「基準期間<sup>※</sup>を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等）

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ''÷ハ''=a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ'÷ハ'=b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間) ロ÷ハ=c
南九州	301円.32銭	305円.30銭	317円.25銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3=ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常費用の差 ニ－ヘ = ケ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
南九州	307円.95銭	349円.88銭	307円.95銭		283円.30銭

3. 旅客運賃の上限変更認可状況

補助ブロック名	認可日	認可を受けた補助対象期間	補助金交付要 綱別表2(注) 4. の適用割合 フ	改定率 コ
南九州		基準期間の 当 年度	1	
南九州	令和5年10月4日	基準期間の 前 年度	2/3	39.90%
南九州		基準期間の 前々 年度	1/3	

4. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合															南国交通株式会社					R8	
補助 ブロック 名	申 請 番 号	特 例 措 置	運 行 系 統 名	運 行 系 統			計画運行 日数	計画運行回数 ( )	計画平均乗車 密度	計画輸 送量	系統キロ程			地域公共交通再編事業を 実施する区域におけるキ ロ程	系統キロ程と地 域公共交通再編 事業を実施する 区域におけるキ ロ程との比率	補助ブロック外 乗入部分のキロ程	同一補助ブロック都道府 県外乗入部分のキロ程	他路線との競合 部分に係るキロ程	他路線との競合 率	補助ブロック外乗 入部分、同一補 助ブロック都道府 県外乗入部分及 び他路線との競 合部分以外のキ ロ程の比率	
				起点	主な 経由地	終点					チ	オ	オ÷チ＝ウ								
																					①＝カッコ内
南九州	1		水俣線（佐潟口・水俣車庫線）	佐潟口	出水	水俣車庫	365日	2,792.0回 (7.6回)	4.6	34.9人	往43.0km 復43.0km	(平均) 43.0km	(平均)		(平均)		往33.9km 復33.9km	(平均) 33.9km	(平均)	% 21.162	
合計			I系統								往43.0km 復43.0km	(平均) 43.0km	(平均)	(平均)		往33.9km 復33.9km	(平均) 33.9km	(平均)			

南国交通株式会社																				R8		
補助 ブロック 名	特 例 措 置	補助ブロック外乗 入部分及び同一 補助ブロック都道 府県外乗入部分 以外のキロ程の 比率  (チー(リ+ヌ)÷ チ=マ)	計画実車走行 キロ  ワ	補助対象 経常費用 の見込額  ヘ×ワ以下の 額:カ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	補助対象系統のキロ当たり経常収益												補助対象系統の 経常収益の見込 額  ノ×ワ以上の額: ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額  カーヨ=タ	補助対象経費 の限度額  カ×9/20=レ	タ又はレのうち いずれか少ないほう の額  ソ	
						補助金交付要綱別表2(注)4 の適用がある場合			3カ年平均	基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間						
						基準期間におけ る実車走行キロ 当たり経常収益 の運賃改定によ る増収分 f×コ÷(1+コ)× フ=g	経常収益控除額 ケとgのいずれか 少ない額 h	補助金交付要綱 別表2(注)4. の 適用後のキロ当 たり経常収益 ノーh=ノ'	(d+e+f)/3=ノ''	経常収益 ヤ''	実車走行 キロ マ''	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ''÷マ''=d	経常収益 ヤ'	実車走行 キロ マ'	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ'÷マ'=e	経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ					補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ=f
南九州	1	21.162%	240,112.0km	73,942,490円	117円.03銭	1,947,128円.33銭		117.03	117円.03銭	24,380,489円	260,150.0km	93円.71銭	26,930,383円	249,400.0km	107円.98銭	35,903,934円	240,284.0 km	149円.42銭	28,100,307円	45,842,183円	33,274,120円	33,274,120円
合計			240,112.0km	73,942,490円						24,380,489円	260,150.0km		26,930,383円	249,400.0km		35,903,934円	240,284.0km		28,100,307円	45,842,183円	33,274,120円	33,274,120円

南国交通株式会社																	R8		
補助 ブロッ ク名	申 請 番 号	特 例 措 置	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分、同一補助ブ ロック都道府県 外乗入部分及び 他路線との競合 部分以外に係る もの	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分及び同一補助 ブロック都道府県 外乗入部分以外 に係るもの	計画平均乗車 密度が5人 未満の路線	補助対象経費	計画額	経常費用から 経常収益を控除 した額	損失額から国庫 補助額を控除し た額	ウの負担者とその負担割合									
										都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要	
										負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合		
南九州	1		7,041,469円	7,041,469円	5,559,054円	5,559 千円	2,779.5千円	45,842,183円	43,062,683円	2,779,500円	6.5%	2,660,000円	6.2%	20,263,500円	47.1%	17,359,683円	40.2%	鹿児島県・出水市・阿久根市	
合計			7,041,469円	7,041,469円	5,559,054円	5,559 千円	2,779千円	45,842,183円	43,062,683円	2,779,000円	6.5%	2,660,000円	6.2%	20,263,500円	47.1%	17,360,183円	40.2%		

5. (表3)別表1の補助事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

都道府県名	広域行政圏名	市町村名	指定の理由
熊本県	宇城	宇城市 (旧松橋町)	<p>要綱上の宇城広域行政圏の中心市町村は宇土市であるが、宇城市は、平成17年に5町が合併し、旧松橋町はその中心として発展している。</p> <p>また、総合病院等の医療機関や県立高校及び大型商業施設、バスターミナルがあることから、周辺地域からの乗合バスによる流入人口は他の中心市町村と比較しても遜色がないため、中心市町村に準ずる市町村としたもの。</p>

6. (表4)同一の補助対象系統として取り扱うことを協議会が特に認めた運行系統の範囲について

都道府県名	事業者名	申請番号	主運行系統名	主運行系統			計画運行日数	計画運行回数 ( )	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		主運行系統と同一の補助対象系統として取り扱う系統 異なる区間	計画運行日数	計画運行回数 ( )	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		主運行系統と異なるキロ程	主運行系統と異なる割合	協議会が必要と認める理由
				起点	主な経由地	終点																
熊本県	産交バス㈱	8	堅志田経由松橋・砥用線	松橋駅前	松橋産交堅志田	砥用中央	365日	3,325.0回 (9.1回)	1.3	11.8人	往22.6 Km 復22.6 Km		宇土本町二丁目～松橋駅前	365日	292.0回 (0.8回)	1.3	1.0人	往26.5 Km 復26.5 Km		4.3 km	19.0%	主系統と同様に砥用方面からの通院・通学の目的で利用されていることから、同一系統と判断。

<参考>基本的な取扱い(主系統と異なる区間のキロ程が10%以内かつ10km以内)として、同一補助対象系統とみなすもの

都道府県名	事業者名	申請番号	主運行系統名	主運行系統			計画運行日数	計画運行回数 ( )	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		主運行系統と同一の補助対象系統として取り扱う系統 異なる区間	計画運行日数	計画運行回数 ( )	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		主運行系統と異なるキロ程	主運行系統と異なる割合
				起点	主な経由地	終点															
熊本県	産交バス㈱	2	河内経由熊本・小天線	桜町バスターミナル	西区役所前 河内亀石	小天温泉	365日	3,023.0回 (8.2回)	3.4	27.8人	往22.5 Km 復22.5 Km		小天温泉～天水支所	365日	1,206.0回 (3.3回)	3.4	11.2人	往24.4 Km 復24.4 Km		1.9 km	8.4%
		11	道尻経由阿蘇環状線	阿蘇医療センター	阿蘇駅前 道尻	阿蘇駅前	365日	3,120.0回 (8.5回)	1.5	12.7人	往23.3 Km 復23.3 Km		阿蘇医療センター～阿蘇駅前	365日	2,439.0回 (6.6回)	1.5	9.9人	往22.0 Km 復22.0 Km		1.3 km	5.5%
	西鉄バス大牟田㈱	1	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	西鉄大牟田	大牟田市立病院・上町	庄山	365日	1,920.0回 (5.2回)	1.5	7.8人	往10.5 Km 復10.5 Km		延命公園・動物園前	365日	875.0回 (2.3回)	1.5	3.4人	往10.2 Km 復10.2 Km		0.3 km	2.8%
		2	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	西鉄大牟田	動物園前・新大牟田駅	南関町役場	365日	4,555.0回 (12.4回)	2.6	32.2人	往18.8 Km 復18.8 Km		警察署前～文化会館前	365日	480.0回 (1.3回)	2.6	3.3人	往19.0 Km 復19.0 Km		0.2 km	1.0%
		4	荒尾駅前～天領橋・高泉団地～三池中町	荒尾駅	天領橋・高泉団地	三池中町	365日	3,313.5回 (9.0回)	3.8	34.2人	往11.0 Km 復11.0 Km		高泉団地	365日	480.0回 (1.3回)	3.8	4.9人	往9.9 Km 復9.9 Km		1.1 km	10.0%



## 7.生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。  
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期
						増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R5)	収支率 (R6)	収支率 (R8)	収支 改善率	
1	1 熊本バス㈱	直行線	熊本市 嘉島町 御船町 山都町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・デジタルチケットを活用し、路線バスで観光ができることをアピールし利用者増を図る（山都町・御船町） ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町 御船町 山都町	774 千円	47.90%	50.69%	51.69%	1.00%	R7年10月 ～ R8年9月
2	2 熊本バス㈱	砥用線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町 美里町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・デジタルチケットを活用し、路線バスで観光ができることをアピールし利用者増を図る（御船町） ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町） ・本系統の主要なバス停を乗継拠点と位置付け、各集落から拠点まで、乗合タクシーで乗客を集約し、継続して生産性の向上を図る（美里町）	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町 美里町	386 千円	55.31%	62.31%	63.42%	1.11%	R7年10月 ～ R8年9月
3	3 熊本バス㈱	辺場・甲佐線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・デジタルチケットを活用し、路線バスで観光ができることをアピールし利用者増を図る（御船町） ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	337 千円	53.50%	70.58%	71.59%	1.01%	R7年10月 ～ R8年9月
4	4 熊本バス㈱	御船・甲佐線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・デジタルチケットを活用し、路線バスで観光ができることをアピールし利用者増を図る（御船町） ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	474 千円	57.66%	69.90%	70.90%	1.00%	R7年10月 ～ R8年9月
5	5 熊本バス㈱	健軍・砥用線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町 美里町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・デジタルチケットを活用し、路線バスで観光ができることをアピールし利用者増を図る（御船町） ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町） ・本系統の主要なバス停を乗継拠点と位置付け、各集落から拠点まで、乗合タクシーで乗客を集約し、継続して生産性の向上を図る	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町 美里町	319 千円	49.34%	56.19%	57.32%	1.13%	R7年10月 ～ R8年9月
6	6 熊本バス㈱	健軍線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・デジタルチケットを活用し、路線バスで観光ができることをアピールし利用者増を図る（御船町） ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	635 千円	56.84%	72.95%	73.96%	1.01%	R7年10月 ～ R8年9月
7	7 熊本バス㈱	健軍・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町	198 千円	61.15%	69.37%	70.38%	1.01%	R7年10月 ～ R8年9月

## 7.生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。  
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期
						増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R5)	収支率 (R6)	収支率 (R8)	収支 改善率	
8	8 熊本バス㈱	宇土線	熊本市 嘉島町 宇土市	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町 宇土市	177 千円	66.92%	82.22%	83.34%	1.12%	R7年10月 ～ R8年9月
9	9 熊本バス㈱	松橋線	熊本市 嘉島町 宇城市	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町 宇城市	209 千円	64.14%	79.51%	80.68%	1.17%	R7年10月 ～ R8年9月
10	10 熊本バス㈱	画図線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町	217 千円	74.93%	94.05%	95.41%	1.36%	R7年10月 ～ R8年9月
11	11 熊本バス㈱	乙女線	熊本市 嘉島町 甲佐町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町 甲佐町	339 千円	48.49%	65.02%	66.02%	1.00%	R7年10月 ～ R8年9月
12	12 熊本バス㈱	中病・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町	310 千円	77.77%	87.62%	88.84%	1.22%	R7年10月 ～ R8年9月
13	13 熊本バス㈱	江津・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町	463 千円	84.79%	103.17%	104.59%	1.42%	R7年10月 ～ R8年9月
14	14 熊本バス㈱	セイラ・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町	446 千円	85.43%	100.86%	102.24%	1.38%	R7年10月 ～ R8年9月
15	15 熊本バス㈱	城南・志導寺線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町	220 千円	75.30%	96.32%	97.66%	1.34%	R7年10月 ～ R8年9月
16	16 熊本バス㈱	健軍電停・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町	130 千円	42.73%	47.78%	48.79%	1.01%	R7年10月 ～ R8年9月

## 7. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。  
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期	
						増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R5)	収支率 (R6)	収支率 (R8)	収支 改善率		
17	1	産交バス(株)	健軍・東無田 經由 熊本・御船線	熊本市 御船町 益城町	・大型商業施設（サクラマテクマモト）が実施する各種イベントと連携し、利用促進に向けた取組みを実施する。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。 ・沿線学校の入学者説明会などでバス通学に関する案内を行う。	産交バス(株) 熊本市 御船町 益城町	347 千円	40.70%	40.32%	41.32%	1.00%	R7年10月 ～ R8年9月
18	2	産交バス(株)	河内經由 熊本・小田線	熊本市 玉名市	・関係自治体と連携し広報活動（広報誌・自社HP）の強化と幼稚園・学校・高齢者団体などでの乗り方教室開催を積極的に展開することで、バス利用方法などをわかりやすく説明し利用促進につなげる。 ・商業施設や地域のイベント開催時などで、公共交通利用を促すような情報発信を行う。 ・沿線の医療機関・公共施設へ隣接バス停の時刻表掲示に協力を依頼する。	産交バス(株) 熊本市 玉名市	685 千円	49.34%	49.97%	50.97%	1.00%	R7年10月 ～ R8年9月
19	3	産交バス(株)	植木・大倉 經由 熊本・玉名線	熊本市 玉名市 玉東町	・関係自治体と連携し広報活動（広報誌・自社HP）の強化と幼稚園・学校・高齢者団体などでの乗り方教室開催を積極的に展開することで、バス利用方法などをわかりやすく説明し利用促進につなげる。 ・商業施設や地域のイベント開催時などで、公共交通利用を促すような情報発信を行う。 ・沿線の医療機関・公共施設へ隣接バス停の時刻表掲示に協力を依頼する。	産交バス(株) 熊本市 玉名市 玉東町	412 千円	46.07%	44.29%	45.29%	1.00%	R7年10月 ～ R8年9月
20	4	産交バス(株)	菊池經由 山鹿・大津線	山鹿市 菊池市 大津町	・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。 ・利用が減る土日祝などを対象に利用者増を目的とした乗車券などの設定を検討する。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。	産交バス(株) 山鹿市 菊池市 大津町	755 千円	29.05%	29.96%	30.96%	1.00%	R7年10月 ～ R8年9月
21	5	産交バス(株)	労働庁舎・鬼 池港經由 本渡・富岡線	天草市 苓北町	・高速船や快速バスとの乗り継ぎ時刻表を作成し、バス車内や船内等にて広報を継続して実施する事で利用促進を図る。 ・幼稚園・学校などでの乗り方教室開催を積極的に展開することで、バス利用方法などをわかりやすく説明し利用促進につなげる。 ・バス利用に関する広報活動周知（自社HP、関係自治体、商業施設、観光地）と連携し利用促進を図る。	産交バス(株) 天草市 苓北町	763 千円	26.80%	28.42%	29.42%	1.00%	R7年10月 ～ R8年9月
22	6	産交バス(株)	一町田中央・ 久玉經由 本渡・牛深線	天草市	・世界遺産崎津集落への結節、また、快速バスとの乗り継ぎ時刻表などを作成し、バス車内や船内等にて広報を継続して実施する事で、利用促進を図る。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バスロケーションシステムや免許返納制度等のバス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 天草市	1,414 千円	17.20%	15.64%	16.64%	1.00%	R7年10月 ～ R8年9月
23	7	産交バス(株)	桜山經由 玉名市役所・ 荒尾線	荒尾市 玉名市	・関係自治体と連携し広報活動（広報誌・自社HP）の強化と幼稚園・学校・高齢者団体などでの乗り方教室開催を積極的に展開することで、バス利用方法などをわかりやすく説明し利用促進につなげる。 ・商業施設や地域のイベント開催時などで、公共交通利用を促すような情報発信を行う。 ・沿線の学校（県立高校・私立高校・専門学校・看護大学）などへ直接訪問し、定期券販売申込書の配布や購入箇所などの案内を行う。また、利用しやすいように、定期券購入時に最寄りバス停の時刻表を配布する。 ・沿線の医療機関・公共施設へ隣接バス停の時刻表掲示に協力を依頼する。	産交バス(株) 荒尾市 玉名市	599 千円	35.00%	31.38%	32.38%	1.00%	R7年10月 ～ R8年9月
24	8	産交バス(株)	堅志田經由 松橋・砥用線	宇土市 宇城市 美里町	・乗降調査など利用状況を踏まえ、お客様の便利に即した適切な時刻・所要時分の検討を行う。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。 ・乗合タクシー及びJRとの乗継拠点結節の強化及び、目的に沿った利用案内を実施する（美里町、JR）。	産交バス(株) 宇土市 宇城市 美里町	580 千円	21.66%	18.55%	19.55%	1.00%	R7年10月 ～ R8年9月
25	9	産交バス(株)	日奈久經由 八代・田浦線	八代市 芦北町	・おれんじ鉄道など他の交通機関との情報共有や調整を行い、利便性の向上を図る。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する。 ・バス利用に関する広報活動について自社HP、関係自治体、娯楽施設、商業施設、宿泊観光地と連携し利用促進を図る。 ・福祉施設や病院、商業施設、沿線学校などに訪問し、時刻表の配布やバスに対するご意見の聞き取りを行う。 ・関係自治体と免許返納者への特典配布など地域住民への利用促進策を検討する。	産交バス(株) 八代市 芦北町	542 千円	19.14%	18.43%	19.43%	1.00%	R7年10月 ～ R8年9月



## 7.生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。  
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期	
						増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R5)	収支率 (R6)	収支率 (R8)	収支 改善率		
26	10	産交バス(株)	道尻経由 阿蘇環状線	阿蘇市	・外国人観光客のお客様向けに専用の時刻表や観光マップなどを作成し、待合所などで掲示・配布することで利用促進を図る。 ・地域内のインフォメーションセンターや観光案内所でバス利用に関する広報資料などを配布してもらうことで、イベント開催時などでのバス利用を促す。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体、商業施設、観光地と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 阿蘇市	442 千円	17.80%	20.43%	21.43%	1.00%	R7年10月 ～ R8年9月
27	11	産交バス(株)	テクノ団地 経由 熊本・高森線	熊本市 益城町 西原村 南阿蘇村 高森町	・利用用途に合わせた時刻表を作成し、関係自治体や観光協会、空港、大型商業施設(サクラマチクマモト)などへ時刻表で配布を依頼し利用促進を図る。 ・高森町内のバスとの接続強化を行い、利便性の向上を図る。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会(中学、高校入学時期)の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 熊本市 益城町 西原村 南阿蘇村 高森町	455 千円	68.66%	63.68%	64.68%	1.00%	R7年10月 ～ R8年9月
28	1	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 (合志市役所)	熊本市 菊陽町 合志市	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る。 ・沿線の戸建て住宅や集合団地等に利用案内(令和4年4月から共通定期券の導入に伴う案内を含む)のポスティング、を行い利用促進を図る。また、沿線の大学、高校を対象に、時刻表や通学定期の案内を学内掲示するとともに、新入生をターゲットに通学定期の案内を配布し、利用促進を行う。 ・バス利用に関する広報・周知活動を関係自治体のHPや広報誌を活用し、一層の利用促進を図る。 ・過年度において熊本市により実施されたバス・電車無料の日等が継続される可能性もある為、これら公共交通利用促進施策の実施により、幹線系統の利用促進に繋げる。(菊池地域)	熊本電気鉄道(株) 熊本市 菊陽町 合志市	351 千円	70.36%	71.72%	74.00%	2.28%	R7年10月 ～ R8年9月
29	1	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	荒尾市 (大牟田市)	・商業施設や関係自治体と連携し、利用促進に向けたイベントなどを行う。 ・春休みや夏休みなどの長期休暇および土曜・日祝日において、こども(小学生)50円バスを西鉄グループ全社で実施し、将来のバスユーザーの獲得と保護者同伴による利用者増加を図る。 ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る。 ・2025年4月1日に大牟田駅と大牟田駅待合所にて運用開始したスマートバス停で、バスの運行状況案内や観光施設等のPRを行い、バスの利便性向上及び利用促進を図る。 上記の内容を検討・実施し毎年1%、R6年度からR8年度にかけ2%の収支改善を図ることを目標とする。	西鉄バス大牟田(株) 大牟田市 荒尾市	92 千円	30.40%	26.07%	28.07%	2.00%	R7年10月 ～ R8年9月
30	2	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	南関町 (大牟田市)	・春休みや夏休みなどの長期休暇および土日祝日において、こども(小学生)50円バスを西鉄グループ全社で実施し、将来のバスユーザーの獲得と保護者同伴による利用者増加を図る。 ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る。 ・2025年4月1日に大牟田駅と大牟田駅待合所、新大牟田駅待合所にて運用開始したスマートバス停で、バスの運行状況案内や観光施設等のPRを行い、バスの利便性向上及び利用促進を図る。 上記の内容を検討・実施し毎年1%、R6年度からR8年度にかけ2%の収支改善を図ることを目標とする。	西鉄バス大牟田(株) 大牟田市 南関町	416 千円	37.47%	36.06%	38.06%	2.00%	R7年10月 ～ R8年9月
31	3	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～大牟田駅～久福木団地	荒尾市 (大牟田市)	・商業施設や関係自治体と連携し、利用促進に向けたイベントなどを行う。 ・春休みや夏休みなどの長期休暇および土日祝日において、こども(小学生)50円バスを西鉄グループ全社で実施し、将来のバスユーザーの獲得と保護者同伴による利用者増加を図る。 ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る。 ・2025年4月1日に大牟田駅と大牟田駅待合所にて運用開始したスマートバス停で、バスの運行状況案内や観光施設等のPRを行い、バスの利便性向上及び利用促進を図る。 上記の内容を検討・実施し毎年1%、R6年度からR8年度にかけ2%の収支改善を図ることを目標とする。	西鉄バス大牟田(株) 大牟田市 荒尾市	342 千円	65.18%	64.48%	66.48%	2.00%	R7年10月 ～ R8年9月
32	4	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～大牟田駅～高泉団地～三池中町	荒尾市 (大牟田市)	・商業施設や関係自治体と連携し、利用促進に向けたイベントなどを行う。 ・春休みや夏休みなどの長期休暇および土日祝日において、こども(小学生)50円バスを西鉄グループ全社で実施し、将来のバスユーザーの獲得と保護者同伴による利用者増加を図る。 ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る。 ・2025年4月1日に大牟田駅と大牟田駅待合所にて運用開始したスマートバス停を活用し、観光施設等のPRを行い、バスの利用促進を図る。 上記の内容を検討・実施し毎年1%、R6年度からR8年度にかけ2%の収支改善を図ることを目標とする。	西鉄バス大牟田(株) 大牟田市 荒尾市	345 千円	68.26%	68.88%	70.88%	2.00%	R7年10月 ～ R8年9月
33	1	南国交通(株)	水俣線 (佐潟口・水俣車庫線)	水俣市 (出水市) (阿久根市)	・R7.4初乗実施運賃を改定したことによる収入を精査する ①九州MaaSを活用して現在作成している企画乗車券をPRしつつ利用者確保に努める ②関係自治体等や自社HPやSNSにて広報活動に努め利用者の維持確保を図る ③鹿児島県におけるICカード(ラピカ)回数券機能廃止検討中であり当該廃止が実施された場合は増収が見込まれる	南国交通(株) 水俣市	850 千円	35.36%	47.09%	48.21%	1.12%	R7年10月 ～ R8年9月

## 8. 外客来訪促進計画との整合性

本計画と外国人観光旅客の来訪の促進等による国際観光の振興に関する法律第5条に基づく「外客来訪促進計画」で定める「外国人観光旅客の円滑かつ快適な旅行のための環境の整備方針」との整合をとることで、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統と国際観光の振興との連携を図ることを目的とする。

番号	事業者名	系統名	整備方針	整合をとるための取組み
1 1	熊本バス(株)	直行線	—	
2 2	熊本バス(株)	砥用線	—	
3 3	熊本バス(株)	辺場・甲佐線	—	
4 4	熊本バス(株)	御船・甲佐線	—	
5 5	熊本バス(株)	健軍・砥用線	—	
6 6	熊本バス(株)	健軍線	—	
7 7	熊本バス(株)	健軍・イオン線	—	
8 8	熊本バス(株)	宇土線	—	
9 9	熊本バス(株)	松橋線	—	
10 10	熊本バス(株)	画図線	—	
11 11	熊本バス(株)	乙女線	—	
12 12	熊本バス(株)	中病・イオン線	—	
13 13	熊本バス(株)	江津・イオン線	—	
14 14	熊本バス(株)	セイラ・イオン線	—	
15 15	熊本バス(株)	城南・志導寺線	—	
16 16	熊本バス(株)	健軍電停・イオン線	—	
17 1	産交バス(株)	健軍・東無田經由 熊本・御船線	—	
18 2	産交バス(株)	河内經由 熊本・小天線	—	
19 3	産交バス(株)	植木・大倉經由 熊本・玉名線	—	
20 4	産交バス(株)	菊池經由 山鹿・大津線	—	
21 5	産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港經由 本渡・富岡線	—	
22 6	産交バス(株)	一町田中央・久玉經由 本渡・牛深線	—	
23 7	産交バス(株)	桜山經由 玉名市役所・荒尾線	—	

番号	事業者名	系統名	整備方針	整合をとるための取組み
24 8	産交バス(株)	堅志田經由 松橋・砥用線	—	
25 9	産交バス(株)	日奈久經由 八代・田浦線	—	
26 10	産交バス(株)	道尻經由 阿蘇環状線	—	
27 11	産交バス(株)	テクノ団地經由 熊本・高森線	—	
28 1	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 (合志市役所)	—	
29 1	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町 ～庄山	—	
30 2	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大 牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場		
31 3	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～大牟田駅～久福木団地	—	
32 4	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～大牟田駅～高泉団地～三 池中町	—	
33 1	南国交通(株)	水俣線 (佐潟口・水俣車庫線)	—	

## 9. 車両の取得に係る目的・必要性

番号	取得 年度	事業者名	運行系統名	目的・必要性
1	1	R4 産交バス(株)	菊池經由山鹿・大津線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
2	2	R4 産交バス(株)	菊池經由山鹿・大津線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
3	3	R8 産交バス(株)	河内經由熊本・小田線 植木・大倉經由熊本・玉名線 桜山經由玉名市役所・荒尾線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
4	4	R8 産交バス(株)	河内經由熊本・小田線 植木・大倉經由熊本・玉名線 桜山經由玉名市役所・荒尾線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
5	1	R5 熊本電気鉄道(株)	377新地団地線（合志市役所）	当該系統を運行する車両の中には、車齢20年を超えるものもあり、安全性や移動の円滑化の観点から、計画的なノンステップバス車両への更新が必要となっている。
6	2	R6 熊本電気鉄道(株)	377新地団地線（合志市役所）	当該系統を運行する車両の中には、車齢20年を超えるものもあり、安全性や移動の円滑化の観点から、計画的なノンステップバス車両への更新が必要となっている。

## 10. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

新規車両の取得により、利便性の向上及び移動の円滑化を図り、運行系統の現状の輸送量を維持することを、本計画における定量的な目標とする。

取得車両及び車両が運行する系統ごとの目標及び効果については、次のとおりである。

番号	取得 年度	事業者名	運行系統名	1日当たり輸送量		効 果	
				R6年度 実績	R8年度 目標値		
1	1	R4	産交バス(株)	菊池經由山鹿・大津線	26.9 人	26.9 人	R6年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
2	2	R4	産交バス(株)	菊池經由山鹿・大津線	26.9 人	26.9 人	R6年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
3	3	R8	産交バス(株)	河内經由 熊本・小田線	44.8 人	44.8 人	R6年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
				植木・大倉經由熊本・玉名線	20.1 人	20.1 人	R6年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
				桜山經由玉名市役所・荒尾線	25.9 人	25.9 人	R6年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
4	4	R8	産交バス(株)	河内經由 熊本・小田線	44.8 人	44.8 人	R6年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
				植木・大倉經由熊本・玉名線	20.1 人	20.1 人	R6年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
				桜山經由玉名市役所・荒尾線	25.9 人	25.9 人	R6年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
5	1	R5	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 (合志市役所)	24.8 人	26.0 人	R6年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
6	2	R6	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 (合志市役所)	24.8 人	26.0 人	R6年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。



# 1 1. （表5） 車両の取得計画の概要

令和8年度

都道府県 (市区町村)	バス事業者等名	補助対象車両数	車両減価償却費等に要する 国庫補助額(千円)
熊本県	産交バス(株)	初年度 車両減価償却 2	初年度 車両減価償却 3,000
		初年度 車両購入金融費用 2	初年度 車両購入金融費用 121
		2年目以降 車両減価償却 2	2年目以降 車両減価償却 3,000
		2年目以降 車両購入金融費用 2	2年目以降 車両購入金融費用 31
		車両数 計 4	計画額 計 6,152
熊本県	熊本電気鉄道(株)	初年度 車両減価償却 0	初年度 車両減価償却 0
		初年度 車両購入金融費用 0	初年度 車両購入金融費用 0
		2年目以降 車両減価償却 2	2年目以降 車両減価償却 2,208
		2年目以降 車両購入金融費用 2	2年目以降 車両購入金融費用 150
		車両数 計 2	計画額 計 2,358
合 計		6	8,510

1 2. （表 6） 車両の取得を行う事業者

事業者名	産交バス株式会社
------	----------

1. 車両取得の概要

初年度(令和 8 年度)

補助ブロック名	申請番号	確保維持路線名称又は区間	確保維持費国庫補助金申請番号	車両の種別			乗車定員(人)	車両の長さ(m)	購入等予定年月	購入等の種別 (現金、割賦、リース)
南九州	3	河内經由熊本・小矢線 熊本・大倉經由熊本・玉名線 桜山經由玉名市役所・荒尾線	2・3・7	超低床	スロープ付き	標準仕様	57	9.0	R7.10	リース
南九州	4	河内經由熊本・小矢線 熊本・大倉經由熊本・玉名線 桜山經由玉名市役所・荒尾線	2・3・7	超低床	スロープ付き	標準仕様	57	9.0	R7.10	リース

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)

定額法

申請番号	実費購入予定費(円)＊消費税を除く				実費購入予定費合計額から備忘価格を控除した額(円)	ホと限度額のうち少ない方の額(円)	普通償却限度額(円) (定率法) ヘ×(0.5or0.4)=ト (定額法)ヘ×0.2=ト	特別償却額(円)	償却限度額(円)	事業者償却額(円)	ヌとルのうち少ない方の額(円)	償却期間(月)	補助対象経費 ヲ×ワ÷12(月)=カ	計画額(千円) カ×1/2=コ	＊残存価格(円) ヘーカ=タ
	車両価格 イ	附属品価格 ロ	改造費 ハ	合計 イ＋ロ＋ハ＝ニ											
3	16,354,000	665,242	0	17,019,242	17,019,241	15,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,233,656	3,000,000	12	3,000,000 円	1,500.0	12,000,000
4	16,354,000	665,242	0	17,019,242	17,019,241	15,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,233,656	3,000,000	12	3,000,000 円	1,500.0	12,000,000
計	32,708,000	1,330,484	0	34,038,484	34,038,482	30,000,000	6,000,000	0	6,000,000	6,467,312	6,000,000		6,000 千円	3,000	24,000,000

【車両購入金融費用】

○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元利均等

申請番号	金融費用補助対象額(円)	償還期間(月)	借入利率(%) 年利	レと2.5%のうち低い方の率(%)	補助対象経費 ツ	計画額(千円) ツ×1/2=ネ
3	への額以内 15,000,000	12	0.85%	0.85%	121,135 円	60.5
4	15,000,000	12	0.85%	0.85%	121,135 円	60.5
計	30,000,000				242 千円	121

【所要経費】

補助対象経費(千円)	計画額(千円)
カ＋ツ	コ＋ネ
6,242	3,121

【負担者とその負担割合】

補助プロジェクト名	申請番号	負担者とその負担割合										「その他の者」の 具体的概要
		都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担				
		負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	
南九州	3	1,560,500 円	25.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	112,656 円	1.8 %			
	4	1,560,500 円	25.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	112,656 円	1.8 %			
合計		4,993,600 円	80.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	563,280 円	9.0 %			

2年目以降(令和 8 年度)

補助ブロック名	申請番号	確保維持路線名称又は区間	確保維持費国庫補助金申請番号	
			当該年度	初年度
南九州	1	菊池經由山鹿・大津線	4	4
南九州	2	菊池經由山鹿・大津線	4	4

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定額法

申請番号	補助対象限度額 (円)	残存価額(円)	普通償却限度額 (円)	特別償却額(円)	償却限度額(円)	事業者償却額 (円)	ノとオのうち少ない方の額(円)	償却期間(月)	補助対象経費 ク×ヤ÷12(月)=マ (最終年度)ク=マ	計画額(千円)	* 残存価格 (円)
	初年度への額=ナ	前年度7(2年目のみ タ)の額=ウ	(定率法) ラ×(0.5or0.4)=ム (定額法)ナ×0.2=ム								
1	15,000,000	4,500,000	3,000,000	0	3,000,000	3,233,656	3,000,000	12	3,000,000 円	1,500.0	1,500,000
2	15,000,000	4,500,000	3,000,000	0	3,000,000	3,233,656	3,000,000	12	3,000,000 円	1,500.0	1,500,000
計	30,000,000	9,000,000	6,000,000	0	6,000,000	6,467,312	6,000,000		6,000 千円	3,000	3,000,000

【車両購入金融費用】

○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元利均等

申請番号	金融費用補助対象額(円) ナの額以内=コ	償還期間 (月)	今年度償還回数		借入利率(%) 年利 エ	エと2.5%のうち 低い方の率(%) テ	補助対象経費 ア	計画額(千円) ア×1/2=サ
			(自)	(至)				
1	15,000,000	12	43	54	0.85%	0.85%	31,560 円	15.7
2	15,000,000	12	43	54	0.85%	0.85%	31,560 円	15.7
計	30,000,000						63 千円	31

【所要経費】

補助対象経費(千円)	計画額(千円)
マ+ア	ケ+サ
6,063	3,031

【負担者とその負担割合】

補助ブロック名	申請番号	負担者とその負担割合									
		都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要	
		負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合		
南九州	1	1,515,500 円	25.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	202,456 円	3.3 %		
	2	1,515,500 円	25.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	202,456 円	3.3 %		
合計		3,031,000 円	50.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	404,912 円	6.7 %		

12.（表6）車両の取得を行う事業者

事業者名	熊本電気鉄道株式会社
------	------------

1. 車両取得の概要

2年目以降(令和 8 年度)

補助ブロック名	申請番号	確保維持路線名称又は区間	確保維持費国庫補助金申請番号	
			当該年度	初年度
南九州	1	新地団地線	1	5
南九州	2	新地団地線	1	6

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定率法
-----

申請番号	補助対象限度額 (円) 初年度への額＝ナ	残存価額(円) 前年度ﾌ(2年目のみ ﾀ)の額＝ラ	普通償却限度額 (円) (定率法) ラ×(0.5or0.4)＝ム (定額法)ナ×0.2＝ム	特別償却額(円) ウ	償却限度額(円) ム＋ウ＝ノ	事業者償却額 (円) オ	ノとオのうち少 ない方の額(円) ク	償却期間(月) ヤ	補助対象経費 ク×ヤ÷12(月)＝マ (最終年度)ク＝マ	計画額(千円) マ×1/2＝ケ	* 残存価格 (円) ラ－マ＝フ
1	15,000,000	4,140,000	1,656,000	0	1,656,000	2,062,368	1,656,000	12	1,656,000 円	828.0	2,484,000
2	15,000,000	6,900,000	2,760,000	0	2,760,000	3,672,000	2,760,000	12	2,760,000 円	1,380.0	4,140,000
計	30,000,000	11,040,000	4,416,000	0	4,416,000	5,734,368	4,416,000		4,416 千円	2,208	6,624,000

【車両購入金融費用】

○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元利均等
------

申請番号	金融費用補助対 象額(円) ナの額以内＝コ	償還期間 (月)	今年度償還回数		借入利率(%) 年利 エ	エと2.5%のうち 低い方の率(%) テ	補助対象経費 ア	計画額(千円) ア×1/2＝サ
			(自)	(至)				
1	15,000,000	12	32	43	2.00%	2.00%	120,900 円	60.4
2	15,000,000	12	20	31	2.00%	2.00%	181,057 円	90.5
計	30,000,000						301 千円	150

【所要経費】

補助対象経費(千円) マ＋ア	計画額(千円) ケ＋サ
4,717	2,358

【負担者とその負担割合】

補助 ブ ロ ッ ク 名	申請 番号	負担者とその負担割合										「その他の者」の 具体的概要
		都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担				
		負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	
南九州	1	888.4 円	0.05 %	円	0 %	円	0 %	円	0 %	円	0 %	
	2	1,470.5 円	0.05 %	円	0 %	円	0 %	円	0 %	円	0 %	
合計		2358.9 円	0.05 %	0 円	%	0 円	%	0 円	%	0 円	%	

### 13. 協議会の開催状況と主な議論

地域ブロック名	日時	該当地域 ブロック	市町村	主な議論
地域ブロック 合同部会	令和7年6月10日	熊本	熊本市	原案のとおり承認
		宇城	宇城市、宇土市、美里町	
		玉名	玉名市、荒尾市、玉東町、和水町、南関町、長洲町	
		鹿本	山鹿市	
		菊池	菊池市、合志市、大津町、菊陽町	
		阿蘇	阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村	
		上益城	山都町、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町	
		八代	八代市、氷川町	
		水俣・芦北	水俣市、芦北町、津奈木町	
		球磨	人吉市、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村	
		天草	天草市、上天草市、苓北町	

14. 協議会メンバーの構成（熊本県地域公共交通協議会）

国・市町村	1	九州運輸局	
	2	九州運輸局熊本運輸支局	
	3	熊本地域ブロック部会（熊本市）	部会長代理
	4	宇城地域ブロック部会（宇城市）	部会長代理
	5	玉名地域ブロック部会（玉名市）	部会長代理
	6	鹿本地域ブロック部会（山鹿市）	部会長代理
	7	菊池地域ブロック部会（菊池市）	部会長代理
	8	阿蘇地域ブロック部会（阿蘇市）	部会長代理
	9	上益城地域ブロック部会（山都町）	部会長代理
	10	八代地域ブロック部会（八代市）	部会長代理
	11	水俣・芦北地域ブロック部会（水俣市）	部会長代理
	12	球磨地域ブロック部会（人吉市）	部会長代理
	13	天草地域ブロック部会（天草市）	部会長代理
関係公共交通事業者等	14	九州旅客鉄道株式会社熊本支社	
	15	肥薩おれんじ鉄道株式会社	
	16	くま川鉄道株式会社	
	17	南阿蘇鉄道株式会社	
	18	熊本電気鉄道株式会社	
	19	熊本市交通局	
	20	九州産交バス株式会社	
	21	産交バス株式会社	
	22	熊本電気鉄道株式会社	
	23	熊本バス株式会社	
	24	熊本都市バス株式会社	
	25	熊本都市バス株式会社共同経営推進室	
	26	一般社団法人熊本県バス協会	
	27	一般社団法人熊本県タクシー協会	
関係道路管理者	28	熊本河川国道事務所	
	29	熊本県土木部道路都市局道路保全課	
関係公安委員会	30	熊本県警察本部交通部交通規制課	
地域公共交通の利用者	31	公益社団法人熊本県老人クラブ連合会	
	32	熊本県PTA連合会	
学識経験者	33	学識経験者	副会長
その他の作成主体が必要と認める者	34	公益社団法人熊本県観光連盟	
	35	社会福祉法人熊本県身体障害者福祉団体連合会	
熊本県	36	企画振興部交通政策・統計局	会 長